

R-Link 2



使用時の注意

安全を理由にまたは物的損害の恐れについてシステムを使用する場合には、必ず次の注意事項に従う必要があります。 (1)
運転する国によって定められた法律を必ず遵守してください。



システムの操作に関する注意事項

- 交通事情が許す限り、スイッチを操作してスクリーンで情報を参照してください。
- 周囲の音が聞こえるように、ボリュームを適度なレベルに調整して下さい。

ナビゲーションに関する注意事項

- ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。
- 地域によっては、「地図」に新しい経路の情報がないことがあります。 ご注意下さい。 いかなる場合であっても、道路コードと道路標識を、ナビゲーションシステムの指示よりも優先してください。

装置に関する注意事項

- やけど、物的リスクを避けるために、このシステムを分解したり改造することは絶対にお止め下さい。
- 誤作動のため、また解体する場合には、メーカーの担当者までお問い合わせ下さい。
- 異物、損傷または汚れた外部ストレージデバイス（USB キーまたは SD カードなど）をリーダーに挿入しないでください。
- マイクロファイバーの布で常に画面を清潔に保ってください。
- システムに適した外部ストレージデバイス（USB フラッシュドライブ、SD カードなど）を使用してください。
- アルコールを含む製品やスプレーはこのエリアに使用しないでください。

システムを使用する前に、一般販売条件に事前に同意することが必須となります。

この注意事項におけるさまざまなモデルの説明は、本書の構想の際に分かっていた特徴に基づいて作成されました。 注意事項には、記載されたモデルに関する存在する機能一式がまとめられています。 注意事項のあるなしは、装備のモデル、選択したオプション、製品化する国によって異なります。 またモデルイヤーの途中から登場した機能についても本書で取り上げます。 取扱説明書上の画面 は、単なるイラストです。 電話のメーカーとモデルによっては、いくつかの機能が車両のマルチメディアシステムと部分的または完全に互換性がある場合があります。 詳細については、指定の販売店にご相談ください。

目 次

章

「概要」の項を参照してください	1
ナビゲーション	2
マルチメディア	3
電話	4
アプリケーション.....	5
車両	6
システム	7
索引	8



「概要」の項を参照してください

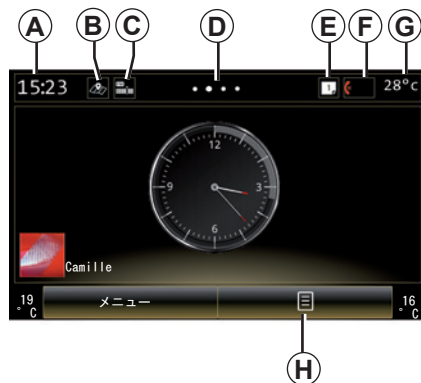
概要説明.	1.2
コマンドの説明.	1.4
作動原理.	1.9
進む／止まる.	1.15
追加、ウィジェットの管理.	1.17
音声認識の使用.	1.19

概要 (1/2)



ホーム画面

- A 時計。
- B 「Map」ショートカット：カードを使用して直接アクセスします。
- C 「オーディオソース」ショートカット：現在使用しているオーディオソースの画面に直接アクセスします。
- D ページインジケータ：コンテンツエリアを素早くスワイプしてページを変更します。



- E 「提案バー」および「通知」ショートカット：車両の接続性に関する情報と、マルチメディアシステムに接続された Bluetooth[®] デバイスと接続された電話の通知に関する情報に直接アクセスします。システムメニュー > 提案バーに必要な情報のカテゴリを設定することができます。

E を押してから「通知」タブを押して、通知のリストを表示します。

F 「電話」ショートカット：

- マルチメディアでペアリングされた電話に直接アクセスするか、「電話」メニューに直接アクセスします。
- 電話情報（ネットワークおよびバッテリー）。

G 外気温度。

H ようこそ画面オプション（ポップアップメニュー）にアクセス：

- 「ホームページの編集」：「ウィジェット」の追加と管理」の項を参照してください。
- 「プロフィールの変更」。
- 「テーマの変更」：時計のスタイルを変更できます。
- 「日付と時間」。
- 「ダークスクリン」：マルチメディアシステム画面は黒くなりますが、有効なままです。

- J エアコン設定メニューにアクセスして、エリア J を押して設定にアクセスします。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

概要 (2/2)



K メインメニューへのアクセス。

L 選択されたプロフィール。ユーザープロフィールを設定するには、「システム」セクションを参照してください。

M ページの内容。

注：ホームページの設定と時計のフォーマットを変更できます。詳細については、「ウィジェットの追加と管理」の項を参照してください。



メニュースクリーン

メニューによっては、Nバーに以下の2つまたは3つのボタンが表示されます：

P 「戻る」；

- このボタンを短く押すと前の画面に戻ります。

- このボタンを長押しすると、ホームページに直接戻ります。



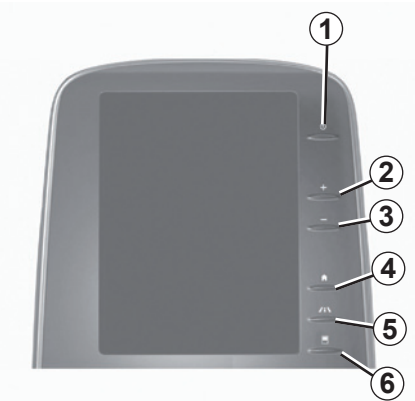
Q 「マルチ機能」：このボタンは、選択したメニューに応じて、主要機能に割り当てられています(有効でない場合は、表示されないか、またはグレー表示になります)。

R 「オプション」(有効でない場合はボタンがグレー表示になります)：ポップアップメニューにアクセスするのに使用します。

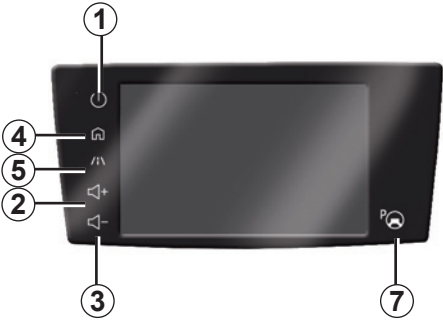
詳細については、マルチメディアシステムでメインメニュー画面のポップアップメニューボタンを押して「ユーザーマニュアル」を押すと表示される、ユーザーマニュアルを参照してください。

コントロールの説明 (1/5)

画面のコントロール 1



画面のコントロール 2



	機能
1	短く押す: ON/OFF。 押したままにします (約 5 秒): システムが始動します。
2	音量を上げる。
3	音量を下げる。
4	ホームページへのアクセス。
5	トリップコンピューターデバイスの設定メニューへのアクセス。
6	ディスプレイ設定メニューへのアクセス。
7	駐車アシスト 機能画面へのダイレクトアクセス (詳細については、「パーキングアシスト」の項を参照してください) 。

コントロールの説明 (2/5)

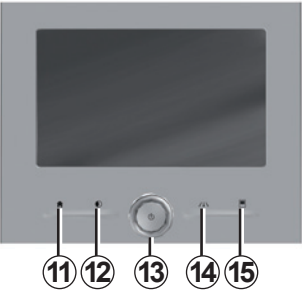
画面のコントロール 3



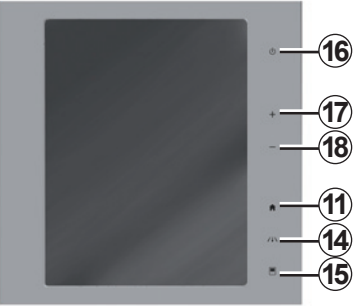
	機能
8	トリップコンピューターシステム設定メニューまたはユーザー設定メニューにアクセスします。
9	ホームページへのアクセス。
10	短く押す：ON/OFF。 押したままにします（約 5 秒）：システムが始動します。 回す：現在聴いている音源の音量を調整。

コントロールの説明 (3/5)

画面のコントロール 4



画面のコントロール 5



	機能
11	ホームページへのアクセス。
12	黒い画面が表示されます。
13	短く押す：ON/OFF。 押したままにします（約 5 秒）：システムが始動します。 回す：現在聴いている音源の音量を調整。
14	トリップコンピューターシステム設定メニューまたはユーザー設定メニューにアクセスします。
15	ディスプレイ設定メニューへのアクセス。
16	短く押す：ON/OFF。 押したままにします（約 5 秒）：システムが始動します。
17	音量を上げる。
18	音量を下げる。

コントロールの説明 (4/5)

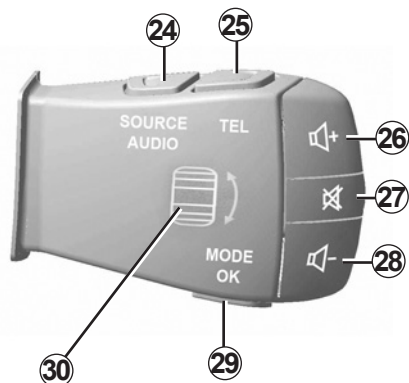
リモートコントロール



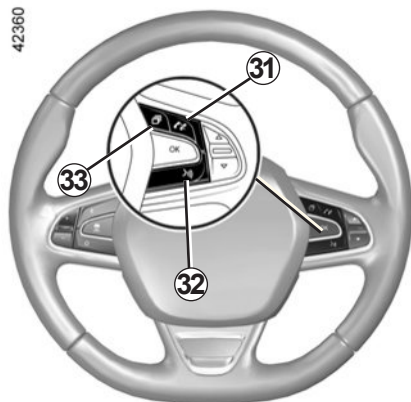
	機能
19	前の画面に戻ります。
20	ホームページへのアクセス。
21	オプションメニュー（ポップアップメニュー）にアクセス。
22	切り替え： - 選択したエリアでのナビゲーション、 - 上 / 下：メニューのさまざまなエリアを移動（トップバー、中央エリア、ボトムバー）、 - 左 / 右：メニューのさまざまなタブに移動。 回す： - ゾーンのさまざまな要素に移動、 - リストを移動、 - ナビゲーションの地図でスケールを変更します（ZOOM モード）。 次を押します： - 有効にする
23	システムメニューMulti-Sense を選択するか、以前に定義した希望のモードを変更します。

コントロールの説明 (5/5)

ステアリングホイールのコントロール



42360



	機能
24	オーディオの音源の選択。
25	電話機能へのアクセス。
26	現在聴いている音源の音量を上げる。
27	ラジオのミュートの ON/OFF。 オーディオトラックの一時停止 / 再生。 音声認識の音声シンセサイザーを中断します。
28	現在聴いている音源の音量を下げる。
29	短く押す： - ラジオモードの変更（プリセット / リスト / 周波数）、 - 確認。 長押しする：リスト（フォルダ / オーディオトラック）から出る。
30	ラジオ局またはオーディオトラック / ディレクトリを参照。
31	はずす／掛ける。。
32	- 短く押す：マルチメディアシステムの音声認識の作動 / 作動解除。 - 長く押す：電話の音声認識の作動 / 作動解除（マルチメディアシステムに接続されている場合のみ）。
33	Multi-Senseメニューから選択した表示テーマに応じて、以下が表示されます。 - 走行中の経路とコンパスが表示されます。 - 出力している音源が表示されます。 - 現在の燃費、エンジン出力、およびトルクが表示されます。

作動原理 (1/6)



マルチメディア画面 1

メニューにナビゲート

マルチメディア画面 1 を使用してシステム機能を利用できます：

- マルチメディア画面 1 をタッチして、メニューを選択します。
- 指で下にスワイプし、さらにメニュー機能にアクセスします。画面の右端に縦方向のスクロールバーが表示され、ページ内での位置がわかります、



- 左から右にスワイプして、メニュー内のページを移動します。

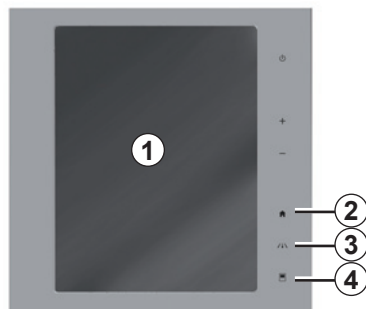
ジェスチャーインタラクション

- 一度タッチ：指でスクリーンの一部にタッチして、スクリーンから指を離します。
- 長押し：スクリーンの一部に 1 秒以上タッチします。



- 「パン」(パノラミック移動)：1 本の指を画面に押し当てたまま、画面を横切るようにスワイプさせます。
- 高速スワイプ(「スワイプ」)：指をあるポイントから別のポイントに素早く移動させます。
- ドラッグアンドドロップ：オブジェクトを移動させながら、スクリーンの一部に 1 秒以上タッチします。
- ピンチ / スプレッド：2 本の指を近づけるか、スクリーンの別々の部分にスライドさせます。

作動原理 (2/6)



スクリーン制御

メニューへのショートカット

- 1 マルチメディア画面。
- 2 ホームページに移動します。
- 3 トリップコンピューター設定メニューまたはユーザー設定メニューを選択します。
- 4 表示設定メニューに移動します。
- 5 「駐車アシスト」メニューにアクセスします。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



進む／止まる

マルチメディアシステム画面のスイッチをオンにします

マルチメディアシステムの始動:

- 車両発進時、
- マルチメディアパネルの ON / OFF スイッチを押します。
- 画面をタッチしたとき。



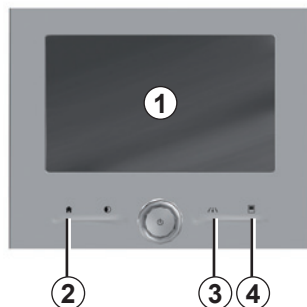
マルチメディアシステム画面のスイッチをオフにします

マルチメディアシステムのスイッチをオフにします。

- マルチメディアパネルの ON / OFF スイッチを押します。
- 車両のドアのロック時。

マルチメディアシステムおよびマルチメディア画面を使用する方法がビデオで説明されます。車両を停止させて、ホーム画面の「メニュー」を押して、ポップアップメニューボタンと「について」を押します。

作動原理 (3/6)



スクリーン制御

メニューへのショートカット

- 1 マルチメディア画面。
- 2 ホームページに移動します。
- 3 トリップコンピューター設定メニューまたはユーザー設定メニューに移動します。
- 4 表示設定メニューに移動します。



リモートコントロール

メニューにナビゲート

ジョイスティック8を使用して、画面のさまざまな部分を移動します。

- ジョイスティック 8 を上下に移動させて、画面のさまざまな部分（アップパーバ、中央部分、ロアバー）を移動します、
- ジョイスティック 8 を回転させてリストを検索したり、地図を拡大/縮小したりします、

- ジョイスティック 8 を押して、選択した要素を開きます、
- タブメニューで、ジョイスティック 8 を左右に動かしてタブを切り替えます。

選択を有効にする

ジョイスティック 8 を押して、変更内容を確認します。

ボタン 6 を押すと前のメニューに戻ります。

ボタン 7 を押すとホームページに戻ります。

以下の使用方法がビデオで解説されています：

- マルチメディア画面、
- Multi-Senseを設定、
- トリップコンピューター。

車両を停止させて、関連するポップアップメニューボタンを押して、「について」を押します。

作動原理 (4/6)



スクロールバー

バー 9 に、ページの現在の画面の位置が示されます。マルチメディア画面を上下にスワイプしてリストをスクロールして、ページ内を移動します。

ポップアップメニュー

ポップアップメニュー 10 はほとんどのシステムメニューで利用可能で、サブメニュー（お気に入りの削除、現在のナビゲーションルート、設定など）にアクセスできます。



ホームページの説明

ホームページは、マルチメディアシステムのデフォルト画面です。システムには 4 つのホームページがあり、そのうち 3 つはカスタマイズが可能です。指を水平にスライド(スワイプ)させて、別のページに移動します。

これらのホームページは、ナビゲーション、ラジオなどの機能を持ついくつかのウィジェットで構成されています。



これらのウィジェットでは、その機能のメイン画面に直接アクセスしたり、場合によってはメイン画面の 1 つから機能を直接制御したりできます（ラジオ局の変更など）。

ホームページの説明については、「概要」の項を参照してください。

注：ホームページの設定を変更できます。詳細については、「ウィジェットの追加と管理」の項を参照してください。

作動原理 (5/6)



メインメニューの説明

メインメニューにアクセスするには、ホームページで「メニュー」ボタンを押します。システムは最大 6 つのセクションで構成されており、メインメニューからそれらのすべてにアクセスできます。

- 「Navigation」機能には、すべての衛星ガイド機能、道路地図、交通情報があります。
- 「Multimedia」機能で、ラジオ、オーディオ、ビデオの再生を管理できます、

- 「電話」機能で、システムを 1 つ以上の携帯電話とペアリングさせて、ハンズフリーモードで使用することができます。
- 「アプリ」には、アプリケーションストアとオンライン R-Link Store ストアがあります。
- 「車両」機能によって、Multi-Sense、ドライビングアシスト、後方カメラ、Driving eco2 などの装置を管理できます。
- 「システム」機能は、表示や言語などのマルチメディアシステムでのさまざまな設定の調整に使用します。



使用可能な機能

走行中、「ビデオ」、「アプリ」などの機能は、国固有の規制に従って、チュートリアルといくつかの設定にアクセスできない場合があります。

使用できない機能は、アイコン 11 によって識別されます。

使用できない機能にアクセスするには、車両を停止します。

注：国によっては、アプリケーションにアクセスするためにハンドブレーキをかける必要がある場合があります。詳細については、ルノー指定サービス工場にお問い合わせください。

作動原理 (6/6)



マルチメディアシステムの接続ボタン 12 を押して接続されているサービスを有効にして、R-Link Store からアプリケーションを取得します。

注: 接続が不可能な場合は、マルチメディアシステムから警告が表示されます。ネットワークカバレッジのあるエリアに車両を移動してから、やり直してください。



マルチメディアシステムに付属の指示の表示

マルチメディア画面で、ポップアップメニュー「13」、「ユーザーマニュアル」の順に押して、マルチメディアシステムの取扱説明書を表示できます。

ON, OFF (1/2)



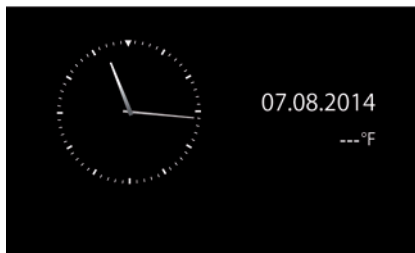
作動

マルチメディアシステムの始動:

- 車両発進時、
- マルチメディアパネルの ON / OFF スイッチを押したとき、
- 画面をタッチしたとき。

スタート時に、システムのいくつかの機能を設定することができます。

- 「変更」を押して、アプリケーションが旅に関連するデータを共有できるようにします（または、このような共有を防止するため）。
- 「OK」を押してデータ共有を許可します。



- 「Profile」を押してユーザープロフィールを変更します。
- 「言語」を押してシステムの言語を変更します。

停止

マルチメディアシステムのスイッチをオフにします。

- マルチメディアパネルの ON / OFF スイッチを押したとき、
- 車両のドアのロック時。



時計 / 外気温度画面

イグニッションスイッチを ON にする前に運転席のドアを開くと、この画面が表示されます。

システムが OFF の状態のときに、イグニッションスイッチを ON にして ON / OFF ボタンを押しても表示されます。すると、システムが停止してガイドとサウンドが OFF になります。

時間を示す画面が表示されます。



システムをリセットする

すべてのシステム設定をリセットしたり、すべての個人データを削除したりできます。これを行うには、ホーム画面で、「メニュー > システム」を選択し、ポップアップメニューボタン「工場出荷状態にリセット」を押します。

画面に確認のメッセージが表示されます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

ウィジェットの追加、管理 (1/2)



ホームページは、マルチメディアシステムのデフォルト画面です。システムには 4 つのホームページがあり、そのうち 3 つはカスタマイズ可能で、ナビゲーションやラジオなど、機能にリンクしたウィジェットなどをカスタマイズできます。

ウィジェットを追加して、ホームページの設定を変更できます。

ホームページウィジェットを押して、その機能のメイン画面に直接アクセスしたり、場合によってはメイン画面の 1 つから機能を直接制御したりできます（ラジオ局の変更など）。



ウィジェットの追加

ホーム画面から、1 を押し、続いてリストから「ホームページの編集」を選択します。

ウィジェットの追加

追加するウィジェットの上に指を置いたまま、画面の上の選択した場所までスライドさせてドラッグします。

ユーザープロファイルを変更した場合は、ウィジェットのレイアウトもそれに伴って変更されます。



ウィジェットのサイズをカスタマイズします

ウィジェットには 2 つのサイズ（大と小）があります。アプリケーションによっては、1 つのサイズしかないものもあります。ホームページに表示されるウィジェットの数は、マルチメディア画面の表示形式によって異なります。

注：一部のウィジェットは、そのサイズに応じて、1 回だけ使用できます。

ウィジェットの追加、管理 (2/2)

「Favourites」ウィジェットのカスタマイズ

以前にマルチメディアシステムに保存された電話帳（電話がマルチメディアシステムに接続されている場合のみ）または住所から番号を追加するには、ホーム画面で Favourites ウィジェットを押します。次に、この連絡先に直接電話をかけるか、このショートカットを使用して連絡先の住所に移動することができます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

ウィジェットの削除

ウィジェットを削除するには、後者の右上にある「X」を押します。画面に確認のメッセージが表示されます。「はい」を押して、削除を確認します。

音声認識を使用する (1/11)

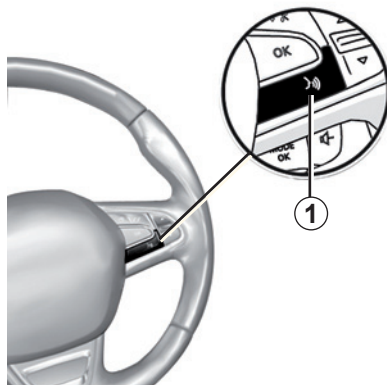
はじめに

マルチメディアシステム  には音声認識システムがあり、マルチメディアシステムと電話のいくつかの機能とアプリケーションを音声で制御することができます。これにより、ステアリングホイールを握ったまま、マルチメディアシステムまたは電話を使用することができます。

作動

音声認識システムを作動させるには、車両の音声認識ボタン  を押します。

注：音声認識ボタンの位置は変動します。詳しくは取扱説明書を参照してください。



音声制御

音声制御を使用して、画面にタッチすることなく、電話帳の連絡先を呼び出し、目的地を入力し、ラジオ局などを変更することができます。1 を押して、システムによる音声と画面上の指示に従ってください。



ステアリングホイールスイッチの 2 ボタンを押すことにより、音声認識の使用時に音声シンセサイザを中断できます。ブザー音が鳴れば、発音できます。

音声認識を使用する (2/11)

音声認識によるマルチメディアの使用

マルチメディアシステムのメイン音声コマンド

「メインメニュー」：メイン音声認識画面に戻ります。

「リピート」：システムが発声した最後のフレーズを繰り返します。

「Leave」と言って、音声認識メニューを終了します。

「Help」と言って、各システム画面と使用可能な機能について説明を聞きます。

「次のページ」 / 「前のページ」 / 「最初のページ」 / 「最後のページ」：音声認識リスト内を移動できます。



音声認識メニュー

メイン音声制御メニューから、音声コマンドを使用して次の機能を制御できます。

- 「Destination」、
- 「ラジオ」、
- 「メディア」、
- 「電話」、
- 「My apps」。

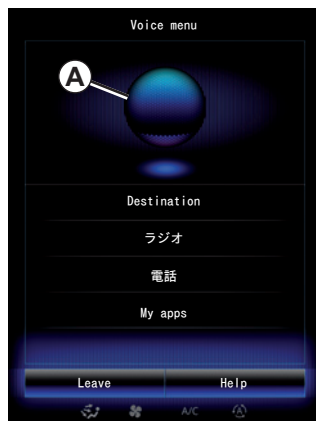
画面上で青で表示されている機能は、マルチメディアシステムが認識している有効なコマンドです。



音声認識インジケータ A

音声認識インジケータ A は、色のついたマーカーとアイコンで構成されています。

画面上でグレーで表示されている機能は、マルチメディアシステムが認識していないコマンドです。



カラーマーカー

インジケータ A の色は、音声認識の最適化のために使用します。

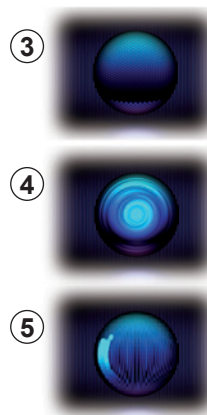
色のマーカーは、音声コマンドがマルチメディアシステムによってどのように解釈されているかに応じて、青色（低）から赤（高すぎる）に変化します。



中央のアイコン

システムの状態によっては、次のような異なるインジケータ A またはバーが表示される場合があります。

- 3 アイコン：システムが音声コマンドを受け入れる準備ができています。
- 4 アイコン：合成音声を通じて、システムが情報を伝達します。
- 5 アイコン：システムがユーザーの要求を処理しています。



わかりやすく大きな声で発音してください。音声認識インジケータを使用して音声認識を最適化します。

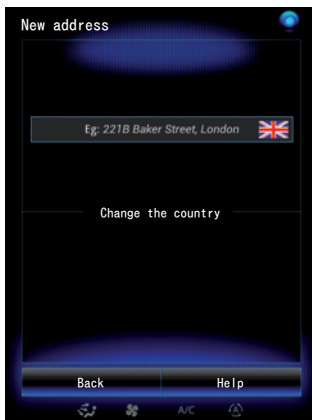


音声認識によるナビゲーションの制御

マルチメディアシステムに搭載されている音声制御を使用して、目的地を入力する方法がいくつかあります。

方法:

- 音声制御ボタンを押して、メイン音声制御メニューを表示します。
- ビープ音の後で「Destination」と言って、次の方法の 1 つを使用します。



「Destination」

音声入力を使用して完全な住所を入力するには:

- 2 回目の信号音の後で「Address」と言って、目的地の完全な住所（番地、街路、町、市）を指示します。
- 認識した住所をシステムが返します。目的地を確認してガイダンスを開始します。

「Previous destinations」

音声制御を使用してすでに入力した住所を取得するには:

- 2 回目のビープ音の後で「Previous destinations」と言って、目的地を選択します。
- 認識した住所をシステムが返します。目的地を確認してガイダンスを開始します。

注: 音声認識を使用するときは、発声する前にビープ音が鳴るまで待ってください。

注: 住所を入力するときは、システム言語で国がサポートされている限り、国を変更することができます。



ナビゲーションに関する注意事項

ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。

音声認識を使用する (5/11)

「Address book」

音声制御を使用して、アドレス帳に保存されている住所を取得するには：

- 2 回目のピープ音の後で「Address book」と言って、目的地を選択します。
- 認識した住所をシステムが返します。目的地を確認してガイダンスを開始します。

「Home」

音声制御を使用して自宅の住所を取得するには：

- 2 回目のピープ音の後で、「自宅に帰る」と言います。
- システムに、事前に記録した自宅の住所が表示されます。目的地を確認して、ガイダンスを開始します。

注：「自宅に帰る」音声機能を使用するには、自宅の住所を保存する必要があります。自宅住所の保存の詳細については、「ナビゲーション設定」の項を参照してください。

「仕事」

音声制御を使用して仕事場の住所を取得するには：

- 2 回目のピープ音の後で、「仕事に行く」と言います。
- システムに、事前に記録した仕事場の住所が表示されます。目的地を確認して、ガイダンスを開始します。

注：「仕事に行く」音声機能を使用するには、仕事場の住所を最初に保存する必要があります。仕事場住所の保存の詳細については、「ナビゲーション設定」の項を参照してください。

マルチモード

マルチモードでは、マルチメディア画面を使用して入力した住所または電話番号を、音声制御を使用して完成させたり、その逆を行うことができます。

使用方法

マルチメディアシステムのキーパッドを使用して住所の入力を開始した場合：

- 音声制御ボタンを押します。
- ピープ音の後で住所入力を完了します（たとえば、目的地の市を入力している場合は、街路名と番地を求められます）。

音声認識を使用する (6/11)

「Points of interest」

音声制御を使用して関心のある場所を検索するには：

- 音声制御ボタンを押して、メイン音声制御メニューを表示します。
- ビープ音の後で、「Destination」と言います。
- 2 回目のビープ音の後で、「Points of interest」と言います。
- ランドマーク（ガソリンスタンド、駐車場など）の検索
- ランドマークの場所を検索します。

関心のあるポイントの使用の詳細については、「目的地を入力する」の項を参照してください。

音声認識によるお気に入りの使用

お気に入りの連絡先をホームページに追加します。保存した電話番号または住所は、音声認識を使用して直接呼び出すことができます。

方法：

- 音声制御ボタンを押して、メイン音声制御メニューを表示します。
- ビープ音の後で「お気に入りを表示」と言います。

保存されているお気に入りが表示されます。

- 使用する保存済みの「Favourites」を指定します。たとえば、保存されている「Favourites」の場合は Fanny、次の操作を実行します。
 - Fanny を呼び出す
 - または
 - Fanny の家へ移動します。

音声認識によるラジオの制御

マルチメディアシステムに搭載されている音声制御を使用して、ラジオを作動させることができます。方法：

- 音声制御ボタンを押して、メイン音声制御メニューを表示します。
- ビープ音の後で「ラジオ」と言って、聴きたいラジオのバンドを（FM または AM）指定します。
 - 「FM」、
 - 「AM」、
 - 「DR」。
- 希望する周波数（「94.4 を聴く」など）を言うか、検索モードを選択してラジオ局を検索します。ラジオ局（AM では使用できません）または「Presets」（たとえば、「事前設定 1 を聴く」）、

聴取中にバンドを変更するには、ラジオメニューで「バンドを変更」と言います。

音声認識を使用する (7/11)



音声認識によるマルチメディアの制御

マルチメディアシステムに搭載されている音声制御を使用して、オーディオメディア（オーディオトラック、プレイリストなど）を作動させることができます。使用可能な外部入力音源には次のものがあります。

- 「USB-1」（USB ポート）、
- 「USB-2」（USB ポート）、
- 「SD」（SD カード）、
- 「CD」（オーディオ CD または MP3）
- 「AUX-1」（ジャックソケット）、
- 「AUX-2」（ジャックソケット）。

方法:

- 音声制御ボタンを押して、メイン音声制御メニューを表示します。
- ビープ音の後で、「メディア」と言います。
- 使用したい補助音源の名前を言い、次に関きたいファイルの名前を言います（例えば「Songs」、「Playlist」など）。

選択した音源（USB または SD カード）によって、以下のことを行うことができます。

- アーティスト名、曲、アルバム、プレイリスト、ポッドキャスト、ジャンル、ファイル別に音楽を検索して再生、
- 次 / 前のトラックを再生、
- シャッフル再生 / すべて再生

注:CD および AUX のソースでは、上記の機能を開くことができません。

アプリケーションの機能が正常に機能するように、電話メーカーが推奨する USB ケーブルの使用をお勧めします。

マルチメディア画面に要求されたメディア / ファイルを表示するには、再生 / 開くファイル名を言う前に「表示」と言います。

曲を再生して音声認識メニューを終了するには、曲のタイトルまたはアーティスト名を言う前に「再生」と言います。

音源を変更するには、「メディア」メニューで「音源を変更」と言います。

音声認識を使用する (8/11)

音声認識による電話の使用

マルチメディアシステムに搭載されている音声制御を使用して、電話番号または連絡先を呼び出すことができます。

方法:

- 音声制御ボタンを押して、メイン音声制御メニューを表示します。
- ビープ音の後で、「電話」と言います。
- 呼び出す連絡先名を言うか、連絡する電話番号を指示します。

注：一度に数字を 1 つまたは 2 つ指示することをお勧めします。

指示した番号がシステムに表示されます。「通話」と言って番号を呼び出すか、「削除」/「Start again」と言って別の番号を指示します。

注：電話で音声認識を使用するには、マルチメディアシステムとペアリングする必要があります。詳細については、「電話のペアリング、ペアリング解除」の項を参照してください。



音声制御機能を使用して、次のことも行えます。

- 通話ログの表示、
- 「SMS」を読み込む、
- ボイスメールの呼び出し。

方法:

- 音声制御ボタンを押して、メイン音声制御メニューを表示します。
- ビープ音の後で、「電話」と言います。
- 画面に表示される使用したい機能の名前を言って、指示に従います。

音声認識を使用する (9/11)

マルチモード

マルチモードでは、マルチメディア画面を使用して入力した住所または電話番号を、音声制御を使用して完成させたり、その逆を行うことができます。

使用方法

マルチメディアシステムのキーパッドを使用して電話番号の入力を開始した場合：

- 音声制御ボタンを押します。
- すでに電話番号をすべて入力しており、その番号を呼び出したい場合は、ピープ音の後で音声を使用するか「通話」と言って、電話番号入力を完了します。

音声認識を使用したアプリケーションの起動

マルチメディアシステムに搭載されている音声制御を使用して、アプリケーションを起動することができます。

方法：

- 音声制御ボタンを押して、メイン音声制御メニューを表示します。
- ピープ音の後で、「My apps」と言います。
- 実行するアプリケーションの番号（アプリケーション名の前に表示される）または名前を言って、すぐに使用します。

「Help」

音声機能の詳細：

- 音声制御ボタンを押して、「Help」と言います。

画面にヘルプカテゴリーが表示されます。

- 必要な機能を選択します。

「Help」機能はいつでも使用できます。たとえば、画面で「電話」を検索したいときに「Help」と言えば、この機能を使用してヘルプ音声が助けてくれます。

音声認識を使用する (10/11)

マルチメディアによる電話の音声認識の使用

マルチメディアシステムで電話の音声認識システムを使用するには、以下の操作を実行する必要があります。

- 電話をマルチメディアシステムと接続します（「電話の接続、取り外し」の項を参照してください）。
- 電話の音声認識機能がマルチメディアシステムと互換性があることを確認します。

注： 電話からの音声認識をマルチメディアシステムで利用できる場合は、「ペアリングされているデバイスのリスト」メニューから 6 ピクトグラムが表示されます。

詳細については、「電話の接続、接続解除」の項を参照してください。



注： マルチメディアシステムで電話の音声認識機能を使用する場合は、ネットワークのカバー範囲内にいることを確認してください。

マルチメディアシステムで電話の音声認識機能を作動させるには、車両の音声認識ボタン  を押したままにします。

マルチメディア画面に電話のメイン音声制御メニュー（画面 B）が表示されます。



マルチメディアシステムで電話の音声認識機能を再作動させるには、車両の音声認識ボタン  または画面 B を短く押します。

マルチメディアシステムで電話の音声認識機能を作動解除するには、車両の音声認識ボタン  を押したままにします。

注： B 画面にアクセスするには、メイン画面で「電話」を押し、続いて「スマートフォン」を押します。

音声認識を使用する (11/11)

メイン音声制御メニューから、音声制御を使用して電話のいくつかの機能とアプリケーションを制御できます。

次の場合に、音声認識が作動解除されます。

- 車両の後退時、
- 通話中。

注：音声認識セッションは、動作のない状態が数秒間続くと、自動的に作動解除されます。

マルチメディアシステムで電話の音声認識を使用する場合は、操作に必要な携帯電話データの移動に、電話のサービス契約に含まれない追加料金がかかる場合があります。



ナビゲーション

カードキー.	2.2
行き先を入力.	2.6
交通.	2.13
ルート.	2.15
ナビゲーションの設定.	2.19

地図 (1/4)

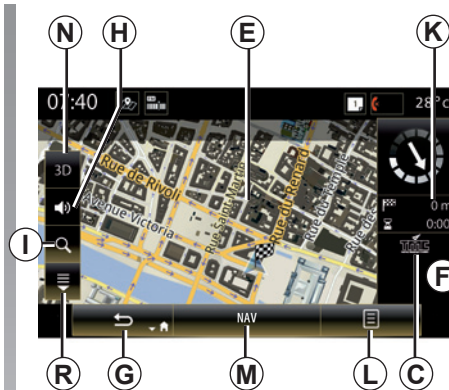


地図の凡例

- A 次の主要道路の名前と交通標識の情報。
- B 表示: 残りの走行距離と次の操作の指示。
押す: ルートについての別の情報にアクセスするショートカット。
- C ディスプレイ: 交通情報サービスサプライヤ。
押す: このショートカットにより、ルート上の交通事故のリストが表示されます。
- D 「目的地」へのショートカット。
- E 現在の位置。



- F ルートについての交通情報バー。
- G 現在の位置または前の画面に戻ります。
- H ガイド指示を有効または無効にします。
- I ズーム: 拡大鏡にタッチして拡大 / 縮小ボタンを表示します。このボタンを使用して、自動モードでのズーム機能を作動または解除にします。
- J 危険性の高いエリアを示す標識。
- K 到着時間、残りの総距離などの走行情報、目的地へのアクセスの可能性(点灯する記号と緑のフラッグまたは赤いフラッグ) / ルートの概要。



- L ポップアップメニュー。
- M ナビゲーションのメインメニューに戻ります。
- N 2D/3D および 2D 北モード(地図の画面上部に常に「北」と表示されます)。
- P 速度制限を示すサイン(選択したユニットによって速度が異なります)。ユニットタイプの選択について詳細は、「システム」の項を参照してください。
- Q ナビゲーションマップに表示されるランドマーク(POI)の記号。
- R ポップアップウィンドウを表示または隠す。

地図 (2/4)



「ナビゲーション」メニュー

ホーム画面から、「メニュー」 を押し、続いて 「ナビゲーション」 を押して 「Map」 メニューにアクセスします。



「Map」

ポップアップメニュー：進行中のルートがない

ポップアップメニューボタンを押して、次の情報にアクセスします：

- 「Traffic map」、
- 「Route」
または「Itinerary」
- 「地図の設定」、
- 「Where Am I?」または「GPS status」、
- 「Stop guidance」。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

「Traffic map」

「トラフィックマップ」を選択して、地図上の現在の交通状況を表示します。

「Route」

Route を選択して次のオプションにアクセスします：

- 「ルートタイプ」：

ルート計算の条件を変更
できます（「Fast」、
「ショート」、Economical を推奨）

。

ルートの計算時に、デフォルト
の計画方法を選択することも
できます。これを行うには、
「マップ」メニューでポップアップ
メニューボタンを押してから、
「Routeルートタイプ」を選択します。

注：上記の機能は異なる場合があります。

次の方法を選択できます：

- 「Fast」：この方法では、ルート設定に基づいて最速のルートが表示されます。この計算方法では、住宅街と狭い道を可能な限り避けることができます。
- 「ショート」：この方法では、可能な限り最短のルートが表示されます。住宅街も回避されます。
- 「経済的ルート」：このルートは、前記の 2 つの方法のメリットを組み合わせたものです。ナビゲーションシステムはそれを最速のルートとして計算しますが、燃料を節約できる他の道路も採用します。

地図 (3/4)

ルート設定

ルート設定は、ルート計算に影響を与える制約となります。「Route」メニューで次の機能を有効または無効にできます：

- 「Motorways」：ルートに高速道路を含めるかどうかを指定します。
- 「Period charge」：一定期間有効な定期料金がかかる道路をルートに含めるかどうかを指定します。
- 「Toll roads」：料金所などを使用する有料道路を含めるかどうかを指定します。
- 「Ferries」：ルートにフェリーを含めるかどうかを指定します。
- 「Car shuttle train」：ルートにトラック / 鉄道による輸送を含めるかどうかを指定します。

- 「Unpaved roads」：ルートに未舗装の道路を含めるかどうかを指定します。
- 認可が必要：アクセスが制限された道路を含めるまたは含めない。

「地図の設定」

このメニューでは、次の項目を設定します：

- 「自動ズーム」：自動ズームを有効または無効にします。
- 「自動高速道路表示」：高速道路標識の表示の有効または無効にします。
- 「表示ポイント」：ナビゲーションの希望の観点を選択します（「低」、「手動」、「高」）；
- 地図の色：優先地図表示モード（「自動」、「昼間」または「夜」）を選択します。

- 3D車両ギャラリ：デフォルトのポジションマーカーを変更できます。左右の矢印を押すことにより、異なるマーカー（3D車両）にスクロールします

マーカーを選択するには、希望の車両の下にある「Back」ボタンを押します。

- 「ランドマーク」：この機能を有効にすると、地図にランドマークの映像 3D、アーティスティックな映像 3D、目立つ場所またはよく知られた場所のモデル 3D が表示されます。
- 「建物」：この機能を有効にすると、市街地が 3D で、アーティスティックな映像が 3D で、または実際の建物のサイズと位置などの市街地のすべての建物が 3D モデルで地図に表示されます。
- リリーフ：この機能を有効にすると、地図に周辺地域の映像 3D が表示されます。

地図 (4/4)

- 「Place markers」：ナビゲーション中に地図上に表示する場所または P01 を選択します。 マーカーの数が多すぎると地図が煩雑になります。できるだけ少なくするほうがいいでしょう。
- 「すべて表示 / すべて非表示」を選択して、すべての場所および P01 カテゴリーを表示するか非表示にするかを指定します。
- 場所または P01 カテゴリー名を押して、サブカテゴリーのリストを開きます。
- カテゴリーの横にあるチェックボックスを選択または選択を解除して、表示または非表示にします。

「Where Am I?」

この機能には、緯度と経度や住所などの現在の位置についての詳細が表示されます。

「GPS status」

この機能で、車両の状態を示す GPS 信号を確認することができます。

「Stop guidance」

これを使用して、有効なルートを取り消します。

ポップアップメニュー：エリア選択あり

他のポップアップメニュー機能にアクセスするには、マルチメディア画面上で指をスライドして地図を移動します。

- 「Places around cursor」、
- 「Add to address book」、
- 「Information」、
- 「Show cursor position」。

「Places around cursor」

この機能で、選択した位置の周囲で関心のある場所を検索することができます。 地図上でマルチメディアシステムが見つけたすべての結果の検索、フィルタ、ソートを行うことができます。

「Add to address book」

この機能を使えば、選択した位置をアドレス帳に保存することができます。

「Information」

この機能で、選択した位置の詳細（住所、緯度および経度）を検索することができます。

「Show cursor position」

この機能で、ガイド地図上を移動する際にカーソルの位置に戻ることができます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

目的地を入力 (1/7)



「ナビゲーション」メニュー

ホーム画面から、「メニュー」、「ナビゲーション」を押して次のメニューにアクセスします。

- 「Destination」、
- 「Itinerary」、
- 「Traffic」、
- 「Map」、
- 「設定」。

ナビゲーションソフトウェアと地図のバージョンの詳細については、「ナビゲーション」メニュー画面のポップアップメニューボタンを選択してから、「Version」を押してください。

詳細については、マルチメディアシステムで「ナビゲーション」メニュー画面のポップアップメニューボタンを押して「ユーザーマニュアル」を押すと表示される、ユーザーマニュアルを参照してください。



「Destination」

「Destination」メニューは、目的地を入力するいくつかの方法を提案します：



「Address」

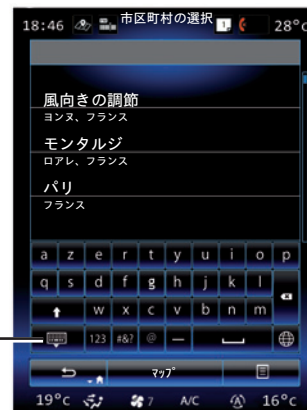
このセクションでは、住所の全てまたは一部を入力することができます： 都道府県、都市、道路、番地。

最初に と を使用するとき、目的地の国を選択するよう求められます。

デジタルキーパッドを使用して町 / 市名または郵便番号を入力します。

システムが複数の町名を提案します。

- 画面上に表示される町 / 市名を押して、選択内容を確認します。
- 検索内容に対応するフルリストにアクセスします。



注：1 を押して、数値キーパッドを非表示にして結果リストをすべて表示することができます。

- 町または市を選択します。
- 「街路」と「番地」フィールドでも同じ動作を行います。

ガイダンス中に、新しい目的地の検索を開始するときに、経由地、新しい目的地、または最終段階のいずれかで設定を選択できます。

目的地を入力 (2/7)



2 ボタン（「ABC」、「QWERTY」、「AZERTY」など）を押して、マルチメディアシステムのキーパッドのタイプを変更できます。

注：システムは、最後に入力された住所をメモリに記憶します。これらの町の1つを直接選択します。

注：デジタル地図でシステムに認識されている住所だけが許可されています。



注：デフォルトで、最終目的地に対応する国と町 / 市が表示されます。要求された目的地が最後に入力された目的地と同じ町 / 市の場合は、街路名を直接入力できます。

音声認識を使用した住所の入力

Destination画面とItinerary画面で音声認識ボタンを押してから、ピープ音の後で町 / 市、街路名、番地を言います。



「Previous destinations」

このメニューで、最後に使用した住所のリストから目的地を選択できます。これらは自動的に保存されます。

「ナビゲーション」メニューから「目的地」を選択し、続いて「Previous destinations」を選択します。

保存されている目的地のリストから、ナビゲーションを開始する住所を選択します。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

目的地を入力 (3/7)



「Points of interest」

ランドマーク (POI) は、場所 (出発地点、目的地、ルート上など) の近くのサービスエリア、施設、ツーリストエリアです。

ランドマークは、レストラン、美術館、駐車場などのカテゴリで分類されます。

「Navigation」メニューで「Destination」を選択し、次に「Points of interest」を選択してランドマークの中から目的地を選択します。

「Name search」

リストには、ルート上または現在の位置の周囲にあるすべての POI が表示されます (存在する場合)。キーパッドを使用して、POI のリストをフィルタリングすることができます。結果のリストから POI を選択するか、キーパッドを使用して探したい POI の名前またはタイプを入力します。

「Location search」

リストから POI を選択するかキーパッドを使用して入力することで、この機能により町 / 市内またはルート周辺のランドマークを検索することができます。次のカテゴリから検索するエリアを選択します：

- 「In a city」、
- 最後の既知の位置に近い。
- 「Along Route」 (該当する場合)、
- 「Near destination」 (該当する場合)。

検索エリアを選択すると、画面に利用可能な POI がカテゴリ別に (「All」、「Airport」、「Automobile」 など) 表示されます。カテゴリを選択します

このカテゴリのすべての POI ランドマークが、検索エリアに表示されます。希望する POI を選択してガイダンスを開始します。

カテゴリー

(ガソリンスタンド / 駐車場 / Restaurant / Accommodation)

「Points of interest」メニューからカテゴリーを選択して、ランドマークを検索します。

この画面で、事前設定した POI のタイプを使用してクイック検索を起動することができます。

- 「ガソリンスタンド」 (ルート上の)。
- 「駐車場」 (目的地の近く)。
- 「Restaurant」 (ルート上の)。
- 「Accommodation」 (目的地の近く)。

現時点でルートまたは目的地がない場合、これらの POI は現在地または最後の既知の場所の周囲で検索されます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

目的地を入力 (4/7)



「Address book」

アドレス帳に住所を保存して、後でそれを目的地として使用することができます。したがって、次の機能を利用できます：

「Home」

この見出しは、自宅までのガイダンスを開始するのに使用できます。

「Address book」メニューから「自宅」を初めて選択すると、「GPS」の位置、「アドレス」、「Points of interest」、「Previous destinations」、「マップ」から、または「座標」などを選択して仕事の住所を記憶するように求められます。

自宅の住所を入力する希望の方法を選択し、確認します。

「仕事」

このメニューは、仕事場までのナビゲーションを開始するのに使用できます。

「Address book」メニューから「職場（設定なし）」を初めて選択すると、「GPS」の位置、「アドレス」、「Points of interest」、「Previous destinations」、「マップ」から、座標」などを選択して仕事の住所を記憶するように求められます。

仕事の住所を入力する方法を選択してから、確認します。

注：自宅または仕事の住所をリセットするには、「Address book」メインメニューでポップアップメニューボタンを押してから、「自宅の住所をリセット」または「仕事の住所をリセット」を押します。



「座標」

この機能で、緯度および経度を使用して目的地を定義することができます。



「On map」

この機能で、地図上で選択した地点から目的地を定義することができます。

「Navigation」メニューから「Destination」を選択し、続いて「On map」を選択します。

地図上を移動して目的地にカーソルを置き、「Select」を押して確認します。ルートが計算されます。

目的地を入力 (5/7)



ポップアップメニュー 4

前述したように目的地を選択し、4を押して次の機能を使用します。

- 「Places around cursor」、
- 「Add to address book」、
- 「Information」。

「Places around cursor」

この機能で、選択した位置の周囲で関心のある場所を検索することができます。地図上でシステムが見つけたすべての結果の検索、フィルタ、ソートを行うことができます。

「Add to address book」

この機能を使えば、選択した位置をアドレス帳に保存することができます。

「Information」

この機能で、選択した位置の詳細（住所、緯度および経度）を検索することができます。

目的地を確定します。

目的地情報を入力すると、確認のためのルートの概要が表示されます。画面の一番下にある Select を押して確認します。システムが計算を実行します。

注：ルート設定で計算の条件を変更できます。

計算の最後で、ナビゲーションの概要が表示されます。

注：画面にタッチしなかった場合、走行に影響を与える制限がなければ、この画面は 10 秒後に閉じられガイダンスが自動的に開始されます。

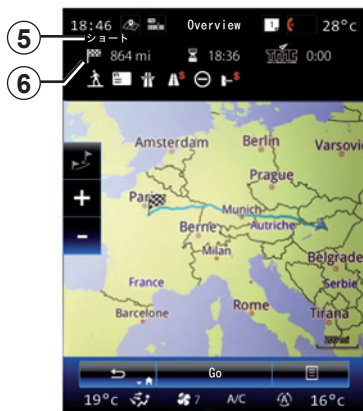
目的地を確認してガイダンスを開始させるには、ボタン Go を押します。

注：ルートが進行中でない場合、「目的地」メニュー 3 へのショートカットが地図に表示されます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

目的地を入力 (6/7)

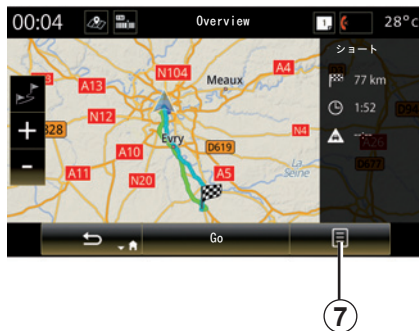


ルートの概要

画面には次の 2 つのエリアがあります：

- ゾーン 5 には、使用する計算方法が表示されます。
- 行程ゾーン 6 は、ルートの概要（距離、行程時間、行程に影響を与える交通状況および制限）を表示します。

目的地までのガイドを開始するには、画面の一番下にある「Go」を押します。



ポップアップメニュー 7

ポップアップメニューボタン 7 を押して、次の情報にアクセスします：

- 「Route Alternatives」、
- 「Itinerary」、
- 「Route」、
- 「Add route to address book」；
- 「ルートをシミュレートします」。

「Route Alternatives」

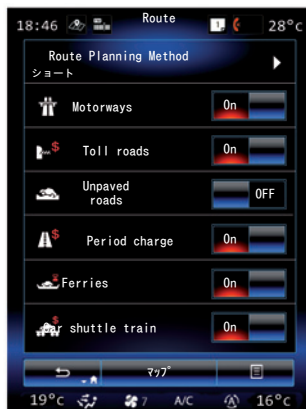
このオプションを使用して、次の 3 つの提案（画面の右側）からルート計算の方法を選択して変更することができます。

- 「Fast」、
- 「経済的ルート」、
- 「ショート」。

「Itinerary」

画面の上部に 3 つのタブ（「手動」、「道路のリスト」、「概要」）があり、目的地までのルートをプレビューすることができます。

目的地を入力 (7/7)



「Route」

「Route Planning Method」

この機能では、ルートの計算方法を変更することができます。ルートの計算方法を選択することで、このルート計算方法を近い目的地のデフォルトの計算方法として定義することもできます。

ルート計算のさまざまな方法を理解するには、「Map」の項を参照してください。

ルート設定

ルート設定は、ルート計算に影響を与える制約となります。詳細については、「Map」の項を参照してください。

「Route Alternatives」

この機能で、マルチメディアシステムの住所録に以前入力したルートを追加できます。

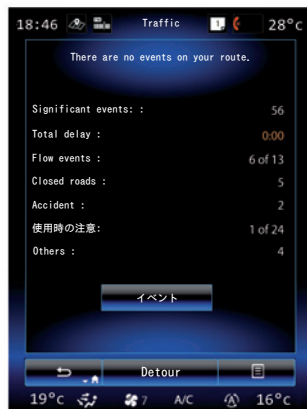
地図アップデートの保証

新車納入後、期間限定で地図のアップデートを無料で行えます。この期間以降は、アップデートは有料です。

詳細については、ルノー指定サービス工場にお問い合わせください。

アップデート（とくに地図）は定期的に公開されます。場合によっては、道路の変更がまだマップで更新されていない可能性があります。

交通 (1/2)



交通ディスプレイ

ナビゲーションシステムは次の方法で地図に交通事象を示します：

- 地図上の色によって：緑から赤（交通量）、黒（道路の閉鎖）；
- 地図上に交通アイコンを表示する。

交通アイコンがナビゲーション画面に表示され、交通事象を告知するかどうかが表示されます。 ルートの先で事象が発生すると、アイコンが事象のタイプを示します。

交通事象の概要

「Traffic」アイコンを押して、ルート近辺で発生するあらゆる事象の概要を表示します。

交通イベントリスト

イベント概要画面の「イベントのリスト」を押して、ルートに影響を与える可能性があるすべてのイベントの概要を表示します。 関心のある交通カテゴリーをタップします。

交通事象の詳細

リストの項目の 1 つを押して詳細を表示し、地図上のルートの関連セクションを表示します。

「さらに表示」を選択して、地図上の現在の交通状況を表示します。



ナビゲーションに関する注意事項

ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。



「Traffic」メニュー

ホーム画面で、「メニュー」>「ナビゲーション」を押し、続いて「トラフィック」を押して更新された道路情報にアクセスします。

「トラフィック」機能は、FM バンドの TMC（交通メッセージチャネル）の情報放送を使用するか、インターネットによる情報を受信します。このサービスは、マップ上にポイントを示しメインルートをかバーすることで、交通事象に関する情報を提供します。

「Traffic」サービスを利用できるかどうかは状況によって異なります。

交通パラメーター

ポップアップメニューボタンを押し、「交通設定」を押して次の設定にアクセスします：

「Traffic」

「TomTom Traffic」サブスクリプションを選択して、オンラインの道路情報と交通情報をリアルタイムで受信できるようにします。このサービスでは、メイン / セカンダリ道路をカバーし、より頻度の高い更新（約 2 分ごと）を可能にします。

サブスクリプション期間が終了すると、マルチメディアシステムの画面に警告メッセージが表示されます。後で、サブスクリプションを延長することができます。

サブスクリプションを延長したくない場合は、TMC 情報サービスを使用できます（このサービスでは、交通情報の更新頻度が少なくなります）。これを行うには、マルチメディアシステムを使用して R-Link Store からアプリケーションのダウンロードとインストールを行ってください。

「Detour」

このオプションを有効にして、ナビゲーションシステムがリアルタイムの道路情報を使用してルートを計算する方法を決定します。

イベントがルートに支障をきたした場合、ナビゲーションシステムは、各イベントまたはすべてのイベントの迂回路を提案することができます。

「Event types」

このオプションを選択して、交通事象のタイプリストを開きます。事故の各タイプで次を実行：

- 「Consider event」：この機能を有効化して、システムがこの事象を考慮してルートの再計算に備えるようにします。
- 「車両」：この機能を有効化して、以前選択した事象をルート上に表示します。

注：上記の他のオプションは、「トラフィック」機能が作動している場合にのみ使用できます。

ルート (1/4)



「Itinerary」メニュー

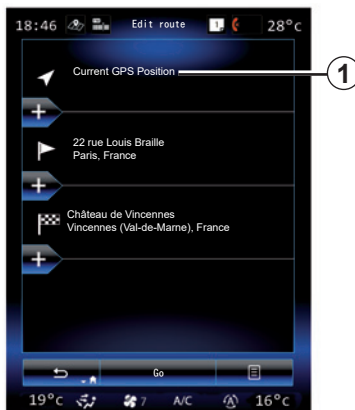
ホーム画面から、「メニュー」、「ナビゲーション」、「NAV」を押し、続いて「ルート」を押して次のメニューにアクセスします。

- 「Edit route」、
- 「Stop guidance」、
- 「Traffic on route」、
- 「Avoidances」、
- 「Overview」、
- 「Route」。



ナビゲーションに関する注意事項

ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。

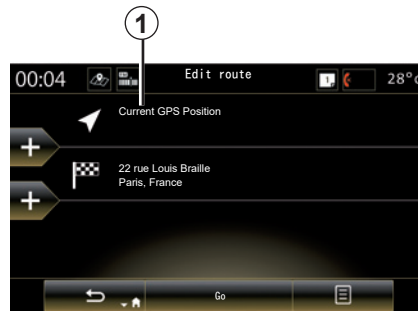


「Edit route」

注：このメニューは、保存されているルートがある場合に使用できます。ルートが保存されていない場合は、「新しいルート」機能を選択してルートを作成できます。

出発地点を設定

ルートの出発地点を設定するには、1 を押して、次に「Set Start Point」、「新しい地点の設定」の順に押します。



目的地を選択するときと同じように、場所を選択します。デフォルトの出発地点は、現在の GPS 位置となります。

ルート (2/4)



開始位置を設定したら、目的地までのルートをシミュレートすることができます。「Go」ボタンを押します。ルートが計画されたら、ポップアップメニューの「ルートのシミュレート」オプションを押します。

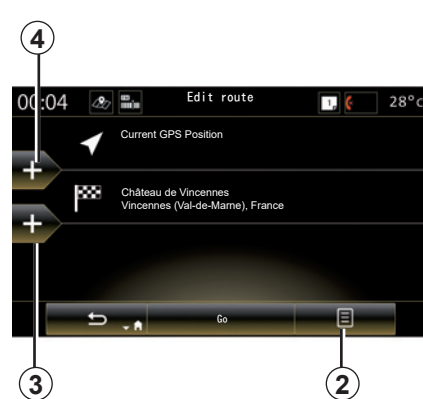
目的地を追加

新しい目的地を設定するには、3 を押して、次にこの目的地を入力します。前述したように、ランドマーク (POI) を選択することもできます。



休息所を追加

ルートに沿って休息所を挿入するには、出発地と目的地の間で 4 を押します (例えば、誰かと合流するために特定の場所を経由したい場合など)。目的地を選択するときと同じように、場所を選択します。最終目的地に到着する前に、選択した休息所を経由して目的地に到達する新しいルートが計算されます。



ポップアップメニュー 2

ポップアップメニュー 2 から次の機能にアクセスできます：

- 選択および削除：この機能は、ルートの特定のステージ、またはルート全体を削除するために使用できます。
- 「Reorder」：休息所のリストを手動で並べ替えることができます。

ルートを確認するには、画面の一番下にある「Go」を押します。新しいルートが計算され、ナビゲーションガイドが開始されます。

ルート (3/4)



「ルートの取消し」

この機能を選択して、現在のナビゲーションを停止します。



「Traffic on route」

この機能により、ルート中の交通地図が表示されます。



「Avoidances」

ルート上でシステムがフラッグを立てていない交通渋滞などの区間を避けるには、「Avoidances」を「Itinerary」メニューから選択します。

次の方法を選択して、次の要素を回避することができます：

- 「Specific sections」：ルート上の特定のタイプを回避します。たとえば、高速道路またはフェリーの区間をスキップできます。

- 「ナビゲーション区間」：保存したルートで回避すべき好ましい距離を示します。画面に距離、ルートの回避される区間、地図上の迂回路が表示されます。画面の上部で、元のルートと比較した距離の変化とルートの推定所要時間も確認できます。

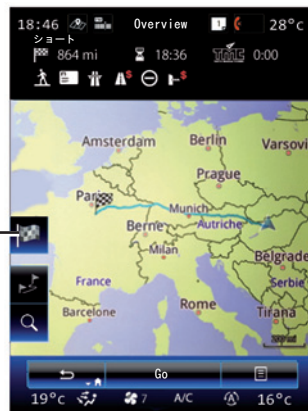
- 「Specific road」：ルート上の道路を回避します。たとえば、交通量の多いことが予想される道路をスキップすることができますが、交通システムはそれについて警告しません。

- 「Restore original route」：以前設定した迂回路をキャンセルします。

地図画面に表示されるすべてのケースで、回避された区間、迂回路と距離の変化の見積もり、迂回路と最初に計算したルートに関連する時間の变化を確認できます。

設定を確認するには、「承認」を押します。

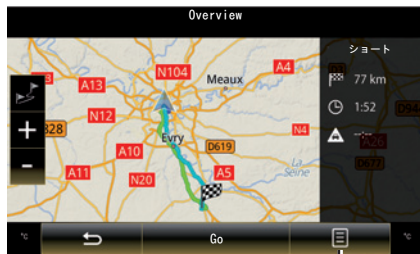
5



「Overview」

「Overview」を「ルート」メニューで押して、または目的地を選択してルートを計算した後で、ルートの概要を表示することができます。マルチメディアシステムには、走行距離、移動時間、道路の種類、交通などに関する情報が表示されます。ルートが進行中の場合は、5 コントロールを使用して目的地をより正確に表示します。

ルート (4/4)



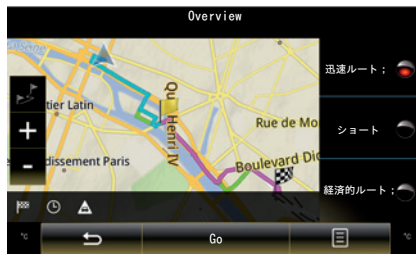
5

ポップアップメニュー 5

5 を押して次の機能を利用します :

- 「Route Alternatives」、
- 「Itinerary」、
- 「Route」、
- 「Add route to address book」;
- 「ルートをシミュレートします」。

詳細については、「目的地を入力する」の項を参照してください。



「Route」

「ルートタイプ」

この機能では、現在のルートの計算方法を変更して再計算することができます。このルートのタイプを選択することで、将来のルート計算のデフォルトの計算方法の設定を定義することもできます。

ルート計算のさまざまな方法を見つけるには、「Map」の項を参照してください。

ルート設定

ルート設定は、ルート計算に影響を与える制約となります。詳細については、「Map」の項を参照してください。

ナビゲーションの設定 (1/3)



「Settings」メニュー

「ナビゲーション」メニューで「設定」を押して、次に変更するサブカテゴリーを選択します。

- 「Sound and warnings」、
- 「Route」、
- 「交通設定」、
- 「地図の設定」、
- 「Visual guidance」。

データをリセットしてデフォルト設定に戻すには、ポップアップメニューボタンを押して、次に リセットを押します。

一部の国では、レーダー探知機オプションの使用が違法となり、罰せられる場合があります。



「Sound and warnings」

このメニューで、マルチメディアシステムの合成音声、さまざまな音、ナビゲーションの警告を定義できます。

「ナビゲーション音声」

このメニューでは、次の設定を調整できます：

- 合成音声の選択、
- 合成音声の調整、
- 合成音声言語の選択
- 送信された音声情報の詳細（最小、標準、詳細など）
- 使用する音声のタイプ（女声または男声）。

注：選択した音声設定のタイプは、ナビゲーション、音声認識、およびアプリケーションに適用されます。

「Safety warnings」

このメニューで、さまざまな安全警告を有効化または無効化して、学校、踏切、危険エリアなど、特定の場所に近づいたときに、音および / または視覚アラームを有効化するように設定できます。

地図上に多数の警戒ポイントを表示させて、そのエリアに近づくとビープ音で警告させるように、ナビゲーションシステムをプログラムすることができます。

このようなエリアでは、法定速度または推奨制限速度が定められている場合もあります。ビープ音は、走行速度が制限速度以下であるか超えているかによって異なる場合があります。

これらの警戒エリアに近づくと警告を出すようにするか、制限速度を超えた場合にだけ警告を出すかを選択することができます。

ナビゲーションの設定 (2/3)

「Warning sign alerts」

このメニューでは、さまざまな道路標識警告を有効または無効にできます。この機能を有効にして、道路の特定の区間（障害物、きついカーブ、交差点など）に接近すると、地図画面に道路標識を表示して示すことができます。警告標識のそれぞれのカテゴリについて、警告のタイプ（音声または視覚）と、警告を受けたい危険エリアからの距離を設定することができます。

「ルート警告」

このメニューで、歩行者エリア、立入禁止エリア、または特別なアクセス許可が必要なエリアなど、ルートに影響を与えるアラートを有効化または無効化することができます。



「Route」

「Route Planning Method」

この機能では、必要に応じて現在のルートの計算方法を変更して再計算することができます。このルートのタイプを選択することで、将来のルート計算のデフォルトの計算方法の設定を定義することもできます。

ルート計算のさまざまな方法を理解するには、「Map」の項を参照してください。

ルート設定

ルート設定は、ルート計算に影響を与える制約となります。詳細については、「Map」の項を参照してください。



交通設定

このメニューで、次を実行できます：

- 交通情報を有効または無効にする
- イベント周辺の迂回を設定する（ナビゲーションシステムは新しいルートを計算）。
- イベントのタイプと地図上の表示を選択する

詳細については、「トラフィック」の項を参照してください。

注：「Traffic」サービスを利用できるかどうかは状況によって異なります。



「地図の設定」

この機能で、地図表示を設定し、地図の表示ポイントなどを設定できます。詳細については、「Map」の項を参照してください。



ナビゲーションに関する注意事項

ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。

ナビゲーションの設定 (3/3)



「Visual guidance」

このメニューでは、ナビゲーション画面上のルートに関連する情報が表示されます。

「Data fields」

ナビゲーション画面の角にあるデータフィールドをカスタマイズできます。このオプションを選択して、表示したい値を選択します。ルートに従うか、目的地を設定せずに走行するかによって、この値は異なります。目的地までの残りの距離 / 、目的地に到着するまでの残り時間 / 次の休息所、または予想到着時間 / 次の休息所を選択できます。

「Tunnel view」

トンネルに入ると、地上の道路や建物は障害物としてカウントすることができます。この機能は、地図の代わりにトンネルの汎用イメージを表示します。トンネルのトップダウン概略図とトンネル出口までの残りの距離も表示されます。

データをリセットしてデフォルト設定に戻すには、ポップアップメニューボタンを押して、次に リセットを押します。

「Signposts」

道路標識に表示されるものと同様の情報など、関連する情報が入手できるときは、それが常に地図の上部に表示されます。この機能はオンまたはオフにできます。

「Junction view」

高速道路のジャンクションまたは複合交差に接近中で、必要が情報がある場合は、地図がジャンクションの 3D 表示に切り替わります。ルート全体で、この機能を有効にするか、標準の表示を維持することができます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



マルチメディア

ラジオを聞く.	3.2
メディア.	3.10
写真.	3.12
ビデオ.	3.14
マルチメディア設定.	3.16

ラジオを聴く (1/8)



「Multimedia」メニュー

メインメニューで「マルチメディア」を押して「ラジオ」を押すか、またはメニューで 1 ショートカットを押します。



「ラジオ」

周波数帯を選択する

マルチメディア画面で「Band」を押すことにより、「FM」、「AM」、または「DR」（デジタルラジオ）を選択します。

ステアリングホイールの下にあるコントロールを使用して、周波数帯を選択することもできます。

ステアリングホイールコントロールのボタンを使用して、記憶されているラジオ局を選択できます。



AM



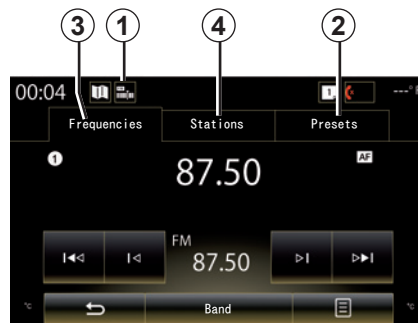
「AM」

AM 局を選ぶ

ラジオ局を選択するには、幾つかのモードがあります。AM を選択した後に、2 または 3 を押して必要なモードを選択します。

次の 2 つの検索モードを使用できます：

- 「Frequencies」モード（タブ 3）、
- 「Presets」モード（タブ 2）。



FM



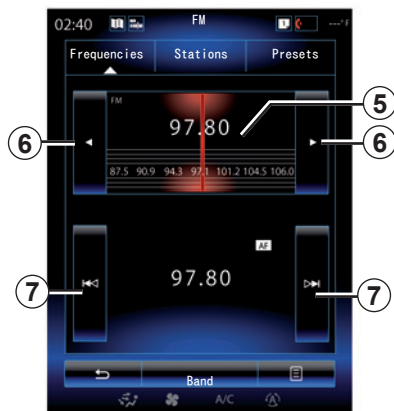
「FM」

FM 局を選ぶ

ラジオ局を選択するには、幾つかのモードがあります。FM を選択した後に、2、3、または 4 を押して必要なモードを選択します。次の 3 つの検索モードを使用できます：

- 「Frequencies」モード（タブ 3）、
- 「Stations」モード（タブ 4）、
- 「Presets」モード（タブ 2）。

ラジオを聴く (2/8)

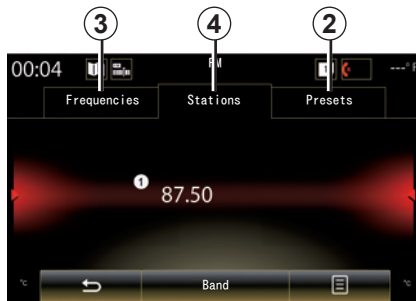


「Frequencies」モード

このモードでは、選択した周波数範囲をスキャンすることで、マニュアルまたは自動で局を検索できます。

周波数範囲のスキャンには、次の 2 つのオプションがあります：

- マニュアル検索：周波数エリア 5 を連続的に押すか、6 を押して、周波数をスキャンします。
- 自動検索：7 を押して、次の局まで進むか戻ります。



「Stations」モード (FM のみ)

このモードでは、アルファベット順に表示されるリストから簡単にラジオ局を検索できます。利用可能な50のラジオ局をスキャンできます。

リストをクリックして、すべての局をスクロールすることができます。停止した位置のラジオ局 8 が再生されます。リストにあるラジオ局を押して再生することもできます。



RDS システムを使用しないラジオ局の名前、またはラジオ電波の受信が困難なエリアに車両がある場合は、ラジオ局が画面に表示されません。周波数だけが表示され、リストの最初にランクされます。

ラジオを聴く (3/8)

「Save as preset」

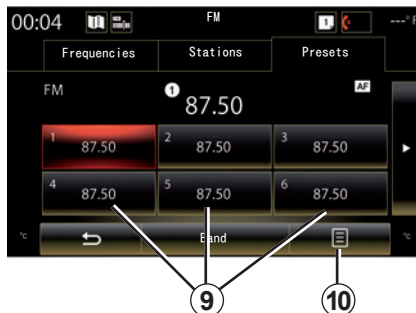
この機能は、現在再生されている曲を記憶します。 方法:

- 「Frequencies」モードまたは「Stations」モードで、10 を押して、次に「Save as preset」を押してから、スロット 9 を選択します。

または

- 「Presets」モードで、ピープ音が鳴り画面の最上部にメッセージが表示されるまで、ボタン 9 の 1 つを押します。

周波数帯あたり 12 局まで記憶できます。



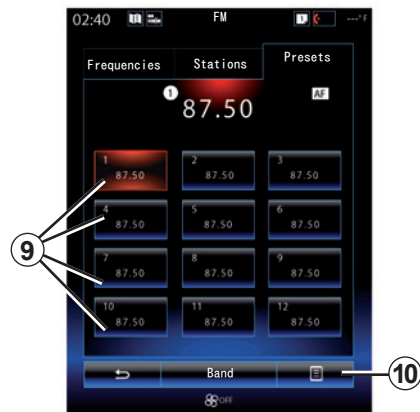
「Presets」モード

このモードでは、以前に記憶させたラジオ局にアクセスできます。 詳細については、この章の「ラジオ局を記憶させる」を参照してください。

9 (1 ~ 12) のスイッチの 1 つを押して、聴きたいラジオ局を選択します。

ステアリングホイールスイッチのボタンを使用して、オーディオソースを変更できます。

ステアリングホイールコントロールのボタンを使用して、記憶されているラジオ局を選択できます。



ポップアップメニュー 9

選択した周波数帯（AMまたはFM）と有効化されているモードに応じて、10 を押して次を実行します：

- 「Change source」、
- 「Save as preset」、
- 設定 ラジオにアクセス、
- Sound settings にアクセス。

「Change source」

この機能では、音源（ラジオ、USB、AUX など）を変更することができます。

ラジオを聴く (4/8)

「設定」

このメニューで次の要素を有効または無効にできます：

- 「AM」、
- 「Radio text」、
- 「Region」、
- 「TA / I-Traffic」。

「AM」

このメニューでは、周波数帯 AM を有効または無効にできます。

「Radio text」 (テキスト情報)

一部の FM ラジオ局は、番組に関連するテキスト情報（例えば曲名）を送信しています。

注：これらの情報は、一部のラジオ局でのみ使用可能です。

「Region」

「地域」機能が有効で、現在使用中の周波数の追跡が信号レベルにより不可能な場合、ラジオでは同じプログラムを放送する新しい周波数のみに切り替わります。

「Region」機能が無効で、現在使用中の周波数の追跡が信号レベルにより不可能な場合、ラジオでは地域によって異なる放送が可能な新しい周波数に切り替わります。

「TA / I-Traffic」 (交通情報)

この機能を有効にすると、お使いのオーディオシステムが、一部の FM ラジオ局が送信している交通情報を自動的に受信することができます（国によって異なります）。

交通情報を送信するラジオ局を選択する必要があります。

注：別のオーディオソースが現在使用されている場合（USB、Bluetooth）、そのオーディオソースは交通情報の着信時に自動的に中断されます。

「Sound settings」

この機能で、音のバランスを設定し、低ピッチ音または高音の値を大きくしたり小さくしたりできます。詳細については、「マルチメディア設定」の項を参照してください。

ラジオを聴く (5/8)



「DR」

DR 局を選ぶ

(デジタルラジオ)

デジタルラジオでは、ラジオ局の選択肢が大幅に広がり、聴取品質が向上し、さらに豊富な情報が得られます。

ラジオ局を選択するには、幾つかのモードがあります。DR を選択した後に、使用可能な 3 つのタブの 1 つを押してモードを選択します：

- 「Channels」 モード 11、

- 「Stations」 モード 12、
- 「Presets」 モード 13。

「Channels」モード

このモードでは、ボタン 15 の 1 つを押してスキャンすることで、マニュアルでラジオ局をスキャンできます。

Stations および Presets モード

このセクションの「Stations」モードおよび「Presets」モードをご覧ください。

ポップアップメニュー 14

選択したモードによって、14 を押して以下を行うことができます。

- Interactive にアクセス、
- 「Change source」 (ラジオ、USB など)、
- 「Save as preset」、
- 「リストの更新」、
- 「設定」または DR モードの「マルチメディア設定」。

ステアリングホイールコントロールのボタンを使用して、記憶されているラジオ局を選択できます。

「Interactive」

14 を押し、次に「Interactive」を押して次を実行します：

- EPG にアクセス、
- Slideshow にアクセス、
- Graphic service にアクセス。



「EPG」 (EPG)

このメニューは、DR 番組のスケジュールを確認するのに使います。



「Graphic service」

このメニューを使用して、現在合わせているラジオ局から提供されている Web サイトを表示できます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

ラジオを聴く (6/8)



「Slideshow」

このメニューを使用して、ラジオ局が提供するイメージをスライドショー形式で表示します。

16 を押してこのメニューにアクセスできます。

注: 「Time shift」機能(直接コントロール)が作動していない場合にはスライドショー 16 が表示されます。



「Change source」

この機能では、音源(「ラジオ」、USB、AUX など)を変更することができます。

ラジオ局を記憶させる

「Channels」モードまたは「Stations」モードで、14 を押した後で「Save as preset」を押します。

ピープ音が鳴るまで、プリセットボタンの 1 つを長押しすることでもできます。

周波数帯あたり 12 局まで記憶できます。



「リストの更新」

このメニューを選択肢でラジオ局リストを更新します。

ステアリングホイールスイッチのボタンを使用して、オーディオソースを変更できます。

ラジオを聴く (7/8)

「設定」

「Channels」、「Stations」、または「Presets」モードで、14を押した後で「設定」を押して、デジタルラジオの調節にアクセスします。この調節で次の要素を有効または無効にできます：

- 「Radio text」、
- 「Simulcast/Handover」、
- 「Time shift」、
- 「TA / I-Traffic」、
- 「I-Announcement」。

「Radio text」 (テキスト情報)

一部のデジタルラジオ局は、番組に関連するテキスト情報（例えば曲名）を送信しています。

注：これらの情報は、一部のラジオ局でのみ使用可能です。



「Simulcast/Handover」

この機能を有効にすると、現在再生中のデジタル FM局の受信が不良になると、オーディオシステムが自動的にアナログ仕様に切り替わります。

オーディオシステムでは、受信可能になるとすぐに、同じデジタル FM ラジオ局に自動的に再接続されます。

注：この機能は、局に FM および DABバージョンがある場合にのみ使用できます。



「Time shift」 タイムシフト

この機能では、スクロールバー 18 を使用してラジオ局を聴取することができます。

17 を押してオーディオシステムを一時停止させて、現在の局の録音を開始します。▶ を押して、録音された局の再生を再開します。再生後に、スクロールバー 18 を使用して再生位置を移動することができます。

注：「Live」を押すか、スクロールバーが最後に達してラジオ局のライブ放送に戻るまで待ちます。

ラジオを聴く (8/8)

「TA / I-Traffic」
(交通情報)

国によっては、お使いのオーディオシステムが、一部のデジタルラジオ局が送信している交通情報を自動的に受信することができます。

「I-Announcement」

「I-Announcement」を押して、下記のアナウンスを作動または解除します。作動させた各アナウンスについて、お使いのオーディオシステムは、一部のデジタルラジオ局が送信している情報を自動的に受信することができます：

- 「Transport news」、
- 「Warning」、
- 「Information」、
- 「Weather」、
- 「Event」、
- 「Special Event」、
- 「Radio Info」、
- 「Sport」、
- 「Finance」。

メディア (1/2)



「マルチメディア」メニュー

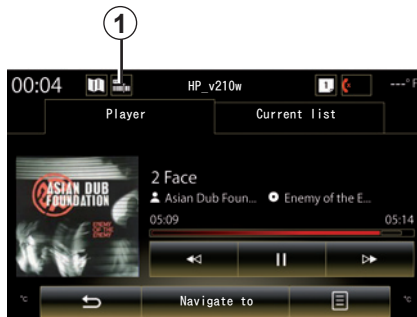
メインメニューから、「マルチメディア」を押して、「メディア」またはメニューから 1 ショートカットを押して、現在使用中のメディア・タイプに直接アクセスします。



「メディア」

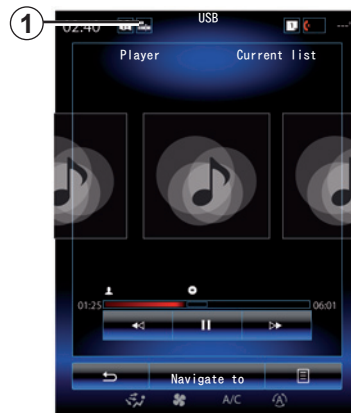
このメニューを使用して、補助ソース（オーディオ CD、USB、SD カードなど）から音楽を聴くことができます。システムに接続された入力ソースを選択して、次のリストからオーディオファイルにアクセスします：

- 「USB-1」（USB ポート）、
- 「USB-2」（USB ポート）、
- 「Bluetooth」；
- 「SD」（SD カード）、
- 「CD」（オーディオ CD または MP3）、
- 「AUX-1」（ジャックソケット）
- 「AUX-2」（ジャックソケット）。



注：

- 上記の入力ソースは異なる場合があります。
- 選択したオーディオ音源によっては、特定の機能にアクセスできません。
- 注：一部のオーディオソース（USB、SD カードおよび CD）は検出時に自動的に開始します。
- 使用する USB フラッシュドライブ（または SD カード）は、FAT32 形式でフォーマットされており、最小 8GB、最大 32GB の容量が必要です。



メインフォルダから次にアクセスできます：

- オーディオファイル、
- フォルダ、音楽、ジャンル、アーティスト、アルバム、プレイリスト、
- フォルダ / オーディオファイル。

注：一部のソースは画面上でグレー表示になり、選択できません。

ステアリングホイールスイッチのボタンを使用して、メディアを変更できます。

メディア (2/2)

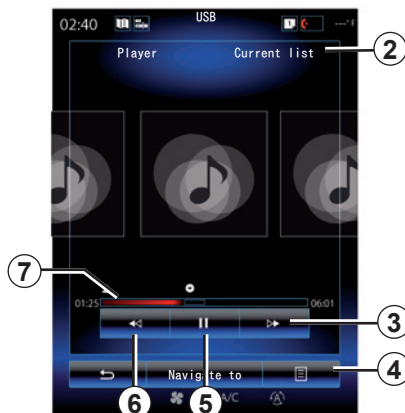


「Player」

すべてのトラックの再生と1つのトラックの再生の間で選択できます。

再生中に次のことを実行できます：

- 現在の再生リストにアクセス、2、
- 3 を押すか、または現在のトラックで早送り押し続けて、次のトラックにアクセスします。
- 5 を押して一時停止、
- 6 を押して前のトラックを再生、



- スクロールバー 7 を表示して特定のメディアタイプを選択します。

注：接続されている入力ソースによって、マルチメディア画面の表示は異なります。

「Navigate to」

カテゴリ別（「フレイリスト」、「Artists」、「Albums」、「Podcast」など）にプレイリストにアクセスするには、「ブラウザー」ボタンを押します。

注：システムは、デフォルトですべてのトラックを読み取ります。接続されている入力ソースによって、上記のプレイリストは異なります。

ポップアップメニュー 4

再生中に、4 ポップアップメニューでは、次の操作を実行できます：

- ソースの変更、
- 現在のトラックのリPEAT再生の作動または解除、
- シャッフルまたはすべてのリストの作動または解除、
- サウンドアンビエンスへのアクセス、
- サウンド設定へのアクセス、

新しい USB フラッシュドライブを挿入した場合は、その画像がマルチメディアシステムに保存されます。USB フラッシュドライブの容量に応じて、マルチメディア画面をスタンバイ状態にすることができます。数秒間待ちます。国の要件に適合する USB フラッシュドライブのみを使用してください。

写真 (1/2)



「マルチメディア」メニュー

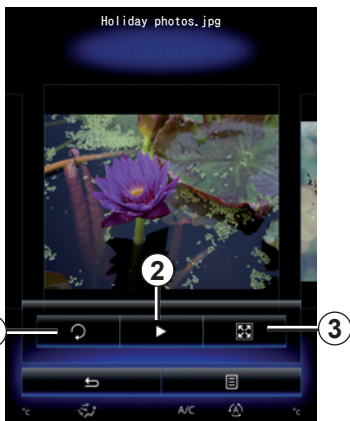
メインメニューで、「マルチメディア」、「写真」を押した後で、次のリストからシステムに接続された入力ソースを選択して、写真にアクセスします：

- 「USB-1」 (USB ポート)、
- 「USB-2」 (USB ポート)、
- 「SD」 (SD カード)。

注：

- 形式によっては判読できない場合があります、上記の入力ソースが異なる場合があります。
- 使用する USB フラッシュドライブ (または SD カード) は、FAT32 形式でフォーマットされており、最小 8GB、最大 32GB の容量が必要です。
- 互換性のある写真形式の詳細については、指定の販売店にご相談ください。

ビデオの再生は、車両が停止している場合のみ可能です。



「写真」

再生

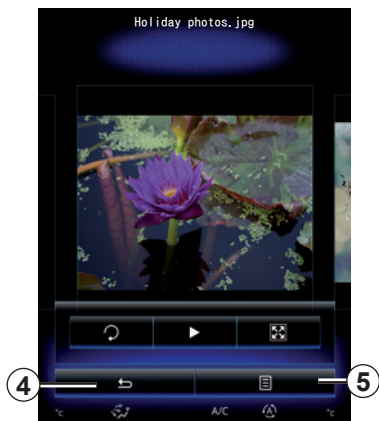
すべての写真の読み取りと 1 つの写真の表示の間で選択できます。写真の表示中に次の操作を実行できます：

- イメージビューエリアをタッチして前後の写真にアクセス、



- イメージプレビューエリアを押して、ステータスバーとコントロールバーを表示 / 非表示にする、
- 1 を押して写真を回転する、
- 2 を押してスライドショーを行う、
- 3 を押して、通常 (調整) モードと全画面モードを切り替える。

写真 (2/2)



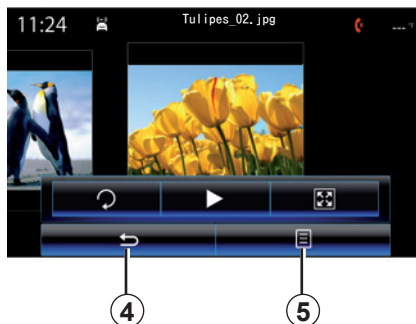
「設定」

設定から次の操作を実行できます：

- スライドショーでそれぞれの写真を表示する時間を変更する、
- スライドショーの各写真間のアニメーション効果を有効または無効にする。

設定を行ったら、4 を押して選択内容を保存して前の画面に戻ります。

注：スライドショーのアニメーション効果は、デフォルトで有効になっています。



ポップアップメニュー 5

写真表示画面で、5 を押して次の操作を実行します：

- 写真情報の詳細（タイトル、ファイルタイプ、日付、パスなど）を取得、
- 写真をユーザープロファイルとして設定、
- 設定へのアクセス

新しい USB フラッシュドライブを挿入した場合は、その画像がマルチメディアシステムに保存されます。USB フラッシュドライブの容量に応じて、マルチメディア画面をスタンバイ状態にすることができます。数秒間待ちます。国の要件に適合する USB フラッシュドライブのみを使用してください。

ビデオ (1/2)



「マルチメディア」メニュー

ビデオを見るには、メインメニューから、「マルチメディア」>「ビデオ」を押した後で、次に示されるリストからシステムに接続された入力ソースを選択します：

- 「USB-1」（USB ポート）、
- 「USB-2」（USB ポート）、
- 「SD」（SD カード）。

注：

- 形式によっては判読できない場合があります、上記の入力ソースが異なる場合があります。
- 使用する USB フラッシュドライブ（または SD カード）は、FAT32 形式でフォーマットされており、最小 8GB、最大 32GB の容量が必要です。
- 互換性のあるビデオ形式の詳細については、指定の販売店にご相談ください。

ビデオの再生は、車両が停止している場合のみ可能です。

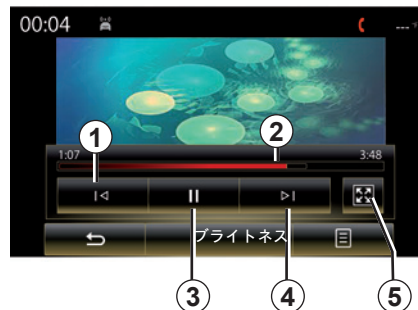


「ビデオ」

再生

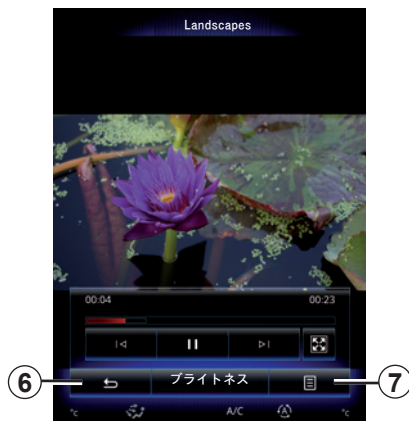
ビデオの再生中に次のことを実行できます：

- 1 を押して前のビデオにアクセスします。ビデオの再生中に、1 を押してビデオを最初から再生したり、押したままにして巻き戻したりします、
- 3 を押して一時停止、



- 4 を押して次のビデオにアクセスするか、または 4 を押し続けて現在のビデオを早送りします、
- 5 を押してビデオを全画面で表示、
- スクロールバー 2 を使用します。

ビデオ (2/2)



「設定」

「設定」メニューで、表示のタイプ（通常（画面に合わせる）または全画面）を選択できます。6 を押して確認して前の画面に戻ります。

「ブライトネス」

ビデオの再生中に、「輝度」を押して画面の明るさを調節します。コントロールバーが表示され、調節を行うことができます。このバーの外側の画面にタッチするとコントロールバーが非表示になり、ビデオの再生に戻ります。



ポップアップメニュー 7

ビデオの再生中に、「7」を押して次のことを実行できます：

- ビデオ情報の詳細（タイトル、タイプ、日付など）を取得、
- 設定へのアクセス

新しい USB フラッシュドライブを挿入した場合は、その画像がマルチメディアシステムに保存されます。USB フラッシュドライブの容量に応じて、マルチメディア画面をスタンバイ状態にすることができます。数秒間待ちます。国の要件に適合する USB フラッシュドライブのみを使用してください。

マルチメディア設定 (1/3)



「設定」メニュー

「マルチメディア」メニューで、「設定」を押して、変更する要素を選択します。

- 「ラジオ」、
- 「メディア」、
- 「写真」、
- 「ビデオ」、
- 「サウンド」。



「ラジオ」

このメニューでは、次の設定を調整できます：

- 「AM」帯を ON または OFF にする、
- 「ラジオテキスト」を ON または OFF にする、
- 「地域」を ON または OFF にする、
- 「TA/I-Traffic」を ON または OFF にする、



「メディア」

このメニューで、次の調整を実行できます：

- メインオーディオの音量、
- 補助ソケット（低、Average、または High）の感度、
- Bluetooth(R) オーディオソース。



「写真」

このメニューでは、次の写真設定を調整できます：

- スライドショーでそれぞれの写真を表示する時間を変更する、
- スライドショーの各写真間のアニメーション効果を有効または無効にする。



「ビデオ」

このメニューでは、ビデオ表示（Fit または 全画面表示）を調整できます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

マルチメディア設定 (2/3)



「サウンド」

このメニューでは、さまざまなサウンドを設定できます。

「Sound ambiance」

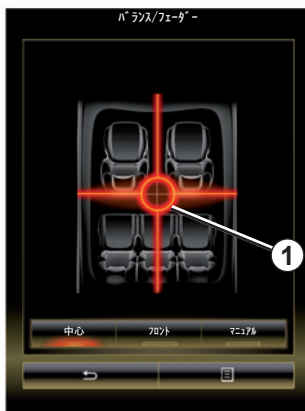
この機能で、次のプリセットから音楽環境を選択できます：

- 「ナチュラル」、
- 「ライブ」、
- 「クラブ」、
- 「ラウンジ」。

注：デモモードを起動して、Arkamys サウンド拡張機能なしでサンプルサウンドを聴くことができます。

「低音域強化」

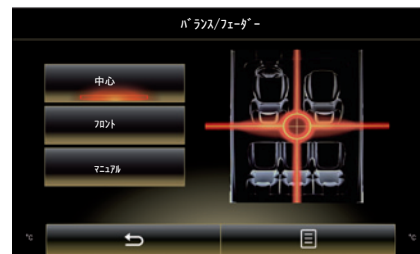
この機能は低音域を増強します。



「Balance / Fader」

この機能は、サウンドの配分バランスを設定します。「中心」を押すか「フロント」を押して、車両の乗員全員に対してサウンド配分を最適化するか、後席の乗員が快適に過ごせるようにします（後席ではオーディオ音声オフになり、車両の前席では控えめの音量で再生）。

次に、画面にタッチするか、「マニュアル」モードを選択している場合はポイント 1 を移動させて設定を変更できます。



「Bass / Medium / Treble」

この機能では、低音域、中音域、高音域を増強したり抑制したりします。

マルチメディア設定 (3/3)



「Volume proportional to speed」

この機能を作動すると、オーディオシステムの音量が車両の速度に応じて変化します。

この機能を作動または解除するには、「Volume proportional to speed」を押してから「ON」または「OFF」を押してください。

+ ボタンと - ボタンを使用して、音量を上げたり下げたりして、音量を設定します。

注：Bose 機器のオーディオシステムの音量が車両の速度に応じて自動的に変化します。

「Loudness」

「ON」または「OFF」を押して、低音域増強を ON にしたり OFF にしたりできます。

「周波数スタビライザー」

この機能は、音量が下げられている間低周波数域と高周波数域を増幅します。

「ON」または「OFF」を押して、ラウドネスを ON にしたり OFF にしたりできます。

「Volume stabiliser」

「ON」または「OFF」を押して、ラウドネスを ON にしたり OFF にしたりできます。

注：各機能をデフォルト設定にリセットするには、ポップアップメニューボタンを押し、「リセット」を押します。

電話

電話のペアリング、ペアリング解除.	4.2
電話の接続、取り外し.	4.5
電話をかける.	4.7
電話帳.	4.10
発信ログ.	4.12
電話番号を押す.	4.13
SMS	4.15
電話の設定.	4.17

電話のペアリング、ペアリング解除 (1/3)



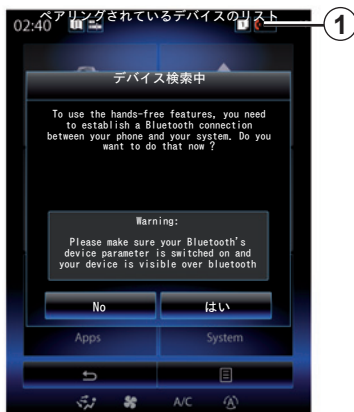
「電話」メニュー

メインメニューで「電話」を押すか、メニューで 1 ショートカットを押します。この機能により、お使いの電話がマルチメディアシステムとペアリングされます。

注：マルチメディアシステムに電話がペアリングされていない場合、いくつかのメニューは無効になります。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



最初の電話のペアリング

ハンズフリー電話システムを使用するには、お使いの Bluetooth^(R) 携帯電話をマルチメディアシステムとペアリングさせます。電話の Bluetooth^(R) が作動しており、そのステータスが「認識」になっていることを確認します。

電話の認識ステータスの有効化の詳細については、電話の取扱説明書を参照してください。

電話のモデルによっては、マルチメディアシステムとペアリングするために Bluetooth^(R) 接続コードを確認するか、入力します。

連絡先、発信ログ、メディアの共有の許可を、電話が求めてくる場合があります。

共有を受け入れて、マルチメディアシステムにこの情報が表示されるようにします。

「検出」

マルチメディアシステムが電話を検索するときに、検出 ボタンを押して、マルチメディアシステムが他の Bluetooth^(R) 機器から短時間の間見えるようにします。

互換性のある電話機のリストについては、<https://easyconnect.renault.com> サイトを参照してください。

電話のペアリング、ペアリング解除 (2/3)



マルチメディアシステムのメインメニューで、次の手順実行します：

- 「電話」を押します。 電話のペアリングを求めるメッセージが画面に表示されます。
- 「はい」を押します。 マルチメディアシステムが、Bluetooth^(R) が作動している近くの電話を検索します、
- リストで電話を選択します。

- ペアリングする機能を選択します：
 - ハンズフリー機能2: 電話帳にアクセスし、通話の発信と受信を行い、通話ログなどにアクセスします。
 - メディア機能 3: 音楽コレクションにアクセスします。
- 「はい」をタップします。

注：機能アイコンの警告灯が点灯し、作動していることを示します。

お使いの電話がマルチメディアシステムとペアリングされました。

別の電話のペアリング

新しい電話をシステムとペアリングするには、次の手順を実行します：

- 電話の Bluetooth^(R) を作動させて、ステータスを「認識」に設定します。
- マルチメディアシステムのメインメニューで、「電話」、「設定」、「ペアリングされているデバイスのリスト」の順に押して、画面の一番下にある「デバイスの追加」を押します。

機器検索の確認を求めるメッセージが画面に表示されます。

- 「はい」を押して確定してください。

電話のペアリング、ペアリング解除 (3/3)

マルチメディアシステムが、Bluetooth^(R) が作動している近くの電話を検索します、

- リストで電話を選択します。
- ペアリングする電話を選択します。
 - ハンズフリー機能 2: 電話帳にアクセスし、通話の発信と受信を行い、通話ログなどにアクセスします。
 - メディア機能 3: 音楽コレクションにアクセスします。
- 「はい」をタップします。

注：機能アイコンの警告灯が点灯し、作動していることを示します。

お使いの電話がマルチメディアシステムとペアリングされました。

2 台の電話を同時にペアリングできます。1 台はマルチメディアシステムと、別の 1 台は電話とペアリングできます。

電話のモデルによっては、マルチメディアシステムとペアリングするために Bluetooth^(R) 接続コードを確認するか、入力します。

連絡先、発信ログ、メディアの共有の許可を、電話が求めてくる場合があります。

共有を受け入れて、マルチメディアシステムにこの情報が表示されるようにします。

注：マルチメディアシステムは、最大 6 台の電話を記憶できます。

電話のペアリング解除

マルチメディアシステムから電話のペアリングを解除するには、次の手順を実行します：

- メインメニューで、「電話」を選択してから、「設定」、「デバイスのリスト」の順に押します。
- 「ペアリングされているデバイスのリスト」メニューのペアリングされている電話のリストから、ポップアップメニューボタンを押して、「デバイスの削除」を選択します。
- 機器を選択して電話リストから削除して、「Delete」を押します。

注：ペアリングされているすべての電話を削除する場合は、ポップアップメニューボタンを押して、「すべてを選択」と「Delete」を押します。

電話の接続、取り外し (1/2)

電話の接続

予めペアリングされていない場合は、ハンズフリーフォンシステムに接続されている電話はありません。 詳細については、「電話のペアリング、ペアリング解除」の項を参照してください。

すべての機能にアクセスするには、電話をハンズフリーシステムに接続する必要があります。

自動接続

マルチメディアシステムが起動すると、ハンズフリー電話システムが、近くで Bluetooth^(R) が作動中のペアリングされている電話を検索します。システムが、最後に接続された電話のデータ（ディレクトリ、SMS など）を自動的にダウンロードします。

注：電話を接続するときに通話中の場合は、車両のスピーカーに通話が自動的に転送されます。



注：電話がマルチメディアシステムに自動的に接続される際のデータ（電話帳、SMS など）のダウンロードは、電話をマルチメディアシステムとペアリングした時にデータ共有を許可した場合にのみ、有効となります。 詳細については、「電話のペアリング、ペアリング解除」の項を参照してください。

手動接続

Bluetooth^(R) 電話をマルチメディアシステムに接続するには、メニューで 1 ショートカットを押します。すでにペアリングされている電話のリストが表示されます。

接続したい電話を選択し、Bluetooth^(R) が有効化されていることを確認します。

接続した電話を充電する

接続した電話を充電するには、最初に複数の電話をペアリングする必要があります。

- メインメニューで「電話」、「設定」を選択し、続いて「ペアリングされているデバイスのリスト」を選択します。
- 接続する電話を押します。

すでにペアリングされている電話のリストが表示されます。

互換性のある電話機のリストについては、<https://easyconnect.renault.com> サイトを参照してください。

電話の接続、取り外し (2/2)



データの共有を許可する

注 : R-Link 2 マルチメディアシステム経由で電話および電話のマルチメディア機能にアクセスするには、電話からデータの共有を許可する必要があります。

マルチメディアシステムの 電話 メニューで、「設定」、次に「ペアリングされているデバイスのリスト」を押します。すでにペアリングされている電話のリストが表示されます。

- 接続する機能を選択します。
 - ハンズフリー機能2: 電話帳にアクセスし、通話の発信と受信を行い、通話ログなどにアクセスします。
 - メディア機能 3: 音楽コレクションにアクセスします。

注 : 機能アイコンの警告灯が点灯し、作動していることを示します。

注 : 自動データ転送が可能な電話もあります。

電話の取り外し

「電話」メニューから「設定」を押し、続いて「ペアリングされているデバイスのリスト」を押します。

ボタン 2 または 3 を押して、警告灯を OFF にして、電話とマルチメディア機能の作動を解除します。警告灯が OFF になると、電話は切断されています。

電話を OFF にしても、マルチメディアシステムから切断されます。

注 : 電話を取り外す時に通話中の場合、通話は自動的にお使いの電話機に転送されます。

電話をかける (1/3)



「電話」メニュー

電話をかける

「電話」メニューから、または 1 ショートカットから次を選択して電話をかけることができます：

- 電話帳から電話をかける、
- 通話履歴から電話をかける、
- キーパッドを使用して番号をダイヤルする。

注：ホームページで、「Favourites」ウィジェットを押して、お気に入りとしてマークしている連絡先に電話をかけます。 詳細については、「ウィジェットの追加と管理」の項を参照してください。



電話を受ける

コールを受信すると、「コール受信」画面が表示され、次の情報が表示されます：

- 通話者の名前（名前がお気に入りまたは電話帳に存在する場合）、
- 通話者の電話番号（名前が電話帳に存在しない場合）、
- 「発信者 ID なし」（番号がわからない場合）。



「Accept」

電話を取るには、「Accept」を押します。

「通話終了」を押して通話を終了します。

コールを「Decline」

コールを拒否するには、「Decline」を押し続けます。 発信者はボイスメールにリダイレクトされます。

ステアリングホイールコントローラを使用して音量を調節することができます。

電話をかける (2/3)

コールを「保留」

マルチメディアシステムで着信に応答し、自動的に保留中にするには、「保留」ボタンまたはポップアップメニューボタンを押し、次に「保留」を押します。音声シンセサイザーが、通話が保留中である旨を発信元に通知します。

電話を転送する

電話を転送するには、「Transfer to phone」ボタンまたはポップアップメニューボタンを押した後で、「Transfer to phone」を押します。



ステアリングホイールコントロール 2
を直接押して、通話に応答する／終了
することができます。



安全のために、この操作は
必ず停止時に行ってください。

電話をかける (3/3)



通話中

通話中に以下ができます:

- 車両のステアリングホイールの下にあるコントロールボタンを押すか、5 を押した後で「Sound settings」を押して、音量を調節する、
- 「通話終了」を押すか、ステアリングホイールのボタン 2 を押して、通話を終了します、



- 7 ボタンを押すか、5 を押した後で「保留」を押して、通話を保留にする。7 ボタンを押すか、5 を押した後で「通話の取得」を押して、保留中の通話を再開する、
- 8 ボタンを押すか、5 を押した後で「Transfer to phone」を押して、通話を接続されている電話に切り替える、
- 画面の最下部に表示される、新たな着信通話があったことを示す通知を押して、2 番目の通話を取る、



- display the numeric keypad by pressing button 4 ボタンを押して数値キーパッドを表示する。

注 : 通話の転送中に、マルチメディアシステムから電話が切断される場合があります。

3 または 6 ボタンを押して、通話中に他のマルチメディアシステム機能（ナビゲーションなど）に戻ることができます。

電話帳 (1/2)



「電話帳」メニュー

メインメニューから「電話」を押すか、またはメニューから 1 ショートカットを押し、「電話帳」を押してマルチメディアシステムから電話の電話帳にアクセスします。

ステアリングホイールのスイッチを使用して、電話帳の連絡先の一覧を参照できます。



電話メモリをダウンロードする

デフォルトでは、電話のペアリングと接続の際に、ハンズフリー接続が作動している場合は、連絡先が自動的に同期されます（「電話の接続、取り外し」の項の「マニュアル接続」を参照してください）。

注：電話帳とマルチメディアシステム経由でアクセスするには、電話のデータの共有を許可する必要があります。「電話のペアリング、ペアリング解除」の項と、電話の取扱説明書を参照してください。

電話帳を更新する

Bluetooth^(R) によって、マルチメディアシステムの電話帳の連絡先を手動で更新できます。ボタン 2 を押し、「リストの更新」を押します。

電話帳 (2/2)

連絡先を検索する

「検索」を押して、仮想キーボードを表示します。名前を入力して、連絡先を検索できます。

機密性

各電話機の連絡先のリストは、ハンズフリーフォンシステムのメモリに記憶されます。

機密保持のため、ダウンロードされた各連絡先は、対応する電話機が接続された場合にのみ表示されます。

リストから電話をかける

電話をマルチメディアシステムに接続したら、メインメニューの「電話」を押して、「電話帳」を押します。

連絡先を選択して、連絡先の番号を押します。通話が自動的に開始されます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

発信ログ



「通話記録」メニュー

発信ログにアクセスする

ホーム画面で、「メニュー」、「電話」、またはメニューから 4 ショートカットを押し、「通話記録」を押して、通話履歴にアクセスします。

通話ログでは、さまざまな通話が 4 つのタブに分類されます：

- 1 すべての通話（着信、発信、不在着信）、
- 2 着信、
- 3 不在着信、
- 5 発信。

それぞれのリストについて、連絡先が新しい順に表示されます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



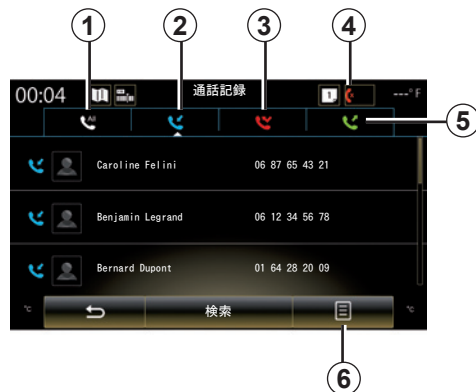
発信ログを閲覧する

タブを押すとその内容が表示されます。

通話のリストをスクロールするには、上下にスワイプします。

発信ログを更新する

6 を押して「リストの更新」を選択します。メッセージが表示されて、データが更新されたことが通知されます。



連絡先を検索する

「検索」を押して、仮想キーパッドを表示します。キーパッドを使用して名前を入力して、連絡先を検索できます。

通話ログから電話をかける

4 つのタブの 1 つを押して、ダイヤルする連絡先 / 電話番号を選択します。通話が自動的に開始されます。

電話番号を押す (1/2)



「ダイヤル番号」メニュー

番号をダイヤルして電話をかける

ホーム画面で、「メニュー」、「電話」、またはメニューから 1 ショートカットを押し、「ダイヤル番号」を押して、キーパッドにアクセスして電話番号を押します。

キーパッド A を使用して希望する番号を入力して、「通話」を押して電話をかけます。



ボイスメール

ボイスメールにアクセスするには、2 キーを押します。

ボイスメールボックスが設定されていない場合は、設定画面が表示されます。A キーパッドを使用してボイスメール番号を入力して、確認します。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

電話番号を押す (2/2)

音声制御を使用して番号を入力する

マルチメディアシステムの電話のキーパッド、またはマルチメディアシステムに搭載されている音声制御を使用して、電話番号をダイヤルできます。

方法:

- 音声制御ボタンを押して、メイン音声制御メニューを表示します。
- ビープ音の後で、「電話」と言います。
- 呼び出す電話番号を発音します。

注: 一度に数字を 1 つまたは 2 つ指示することをお勧めします。

- 指示した番号がシステムに表示されます。「通話」と言って番号を呼び出すか、「削除」/「Start again」と言って別の番号を指示します。

音声制御を使用して番号を入力します

マルチメディアシステムのキーパッドを使用して電話番号の入力を開始した場合:

- 音声制御ボタンを押します。
- すでに電話番号をすべて入力しており、その番号を呼び出したい場合は、ビープ音の後で音声を使用するか「通話」と言って、電話番号入力を完了します。

注: 音声認識の使用については、「音声認識の使用」を参照してください。



「SMS」メニュー

ホーム画面から「メニュー」>「電話」、またはメニューから 1 ショートカットを押し、「SMS」を押してマルチメディアシステムから電話の SMS にアクセスします。

予めペアリングされていない場合は、ハンズフリーフォンシステムに接続されている電話はありません。詳細については、「電話のペアリング、ペアリング解除」の「電話のペアリング」の項を参照してください。

すべての機能にアクセスするには、電話をハンズフリーシステムに接続する必要があります。

注： マルチメディアシステム経由で SMS にアクセスするには、電話のデータの共有と通知を許可する必要があります。詳細については、「電話のペアリング、ペアリング解除」の項と電話の取扱説明書を参照してください。



注： マルチメディアシステムを経由して読むことができるのは SMS だけです。その他のタイプのメッセージは読むことができません。

SMS を使用する

電話をシステムに接続した状態で、「電話」メニューの「SMS」を押します。走行中は、希望するメッセージを押してマルチメディアシステムの音声で読ませます。

注： 車両が停止しているときに、マルチメディアシステムを使用して、画面に SMS を表示することができます。



SMS テキストをシステムで受信する

デフォルトでは、ペアリングと電話の接続後に新しいメッセージを受信すると、マルチメディアシステムで読むことができます。

注： 電話からマルチメディアシステムへのペアリング後に受信したメッセージのみを読むことができます。

電話の仕様とモデルによっては、特定の機能を利用できない場合があります。

SMS (2/2)

SMS を検索する

SMSを検索するには、「検索」を押して、デジタルキーパッドを使用してキーワードを入力します。

SMS をソートする

SMS を時間または連絡先名でソートするには、ポップアップメニューボタンを押します。

ルート情報

リストの SMS の 1 つを押して、詳細を表示します。

連絡先の名前（メモリまたは電話帳に記録されている場合）、電話番号、およびメッセージのテキストが表示されます。

番号がメモリまたは電話帳に保存されている場合は、「通話」を押してその連絡先に直接電話をかけることができます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

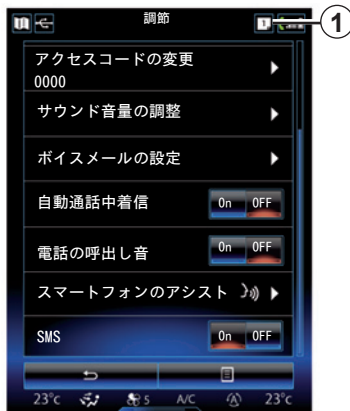
電話の設定 (1/2)



「設定」メニュー

電話をシステムに接続した状態で、ホーム画面から「メニュー」、「電話」、またはメニューから 1 ショートカットを押し、「設定」を押して以下の設定にアクセスします。

- 「Bluetooth」 (「On」 / 「OFF」)
- 「デバイスのリスト」、
- 「アクセスコードの変更」、
- 「サウンド音量の調整」、
- 「Voice mail settings」、
- 「自動通話中着信」 (「On」 / 「OFF」)、
- 「電話の呼出し音」 (「On」 / 「OFF」)、
- 「スマートフォンのアシスト」、
- 「SMS」 (「On」 / 「OFF」)。



「Bluetooth」

このオプションで、マルチメディアシステム Bluetooth^(R) を ON または OFF にします。

「デバイスのリスト」

このオプションで、次の操作を実行できます：

- ペ어링されているデバイスを表示、
- 接続されている電話の機能を ON/OFF にする、
- Bluetooth^(R) デバイスを追加、
- ペ어링されている 1 つまたは複数のデバイスを削除する。

詳細については、「電話のペ어링、ペ어링解除」の項を参照してください。



「アクセスコードの変更」

このオプションで Bluetooth^(R) パスワードを変更します。

注： 現在のパスワードが表示されます。デフォルトのパスワードは 0000 です。

電話の設定 (2/2)

「Sound levels」

このオプションで、次の音量レベルを調整します：

- 「電話の呼出し音」、
- 「通信」、

注：設定をリセットするには、ポップアップメニューボタンを押し、「リセット」を押します。

「ボイスメールの設定」

詳細については、「番号のダイヤル」の項を参照してください。

「自動通話中着信」

このオプションで、着信コールの自動保留を ON または OFF にします。

「電話の呼出し音」

このオプションを使用して、電話の着信音を作動または解除します。

「スマートフォンのアシスト」

このオプションでは、マルチメディアシステムで電話の音声認識機能を作動させる方法のチュートリアルにアクセスできます。

「SMS」

SMS を ON または OFF にできます。

互換性のある電話機のリストについては、<https://easyconnect.renault.com> サイトを参照してください。

電話の仕様とモデルによっては、特定の機能が動作しない場合があります。

アプリケーション

アプリケーションメニューの説明.	5.2
マイアプリケーション.	5.3
R-Link ストア	5.4
アプリケーションマネージャ.	5.9
アプリケーションの設定.	5.10
Android Auto™、CarPlay™	5.11

アプリケーションメニューの説明



「アプリ」メニュー

ホーム画面から、「メニュー」を押し、続いて「アプリ」を押して次のメニューにアクセスします：

- 「マイアプリ」、
- 「R-Link Store」、
- 「アプリマネージャー」、
- ” 個人情報 ”.

トライアル期間中に、いくつかのサービスに無料でアクセスできます。車両の R-Link Store から、またはメーカーのウェブサイトでサブスクリプションをオンラインで延長することができます。

R-Link Store の説明

マルチメディアシステムは、選択したサービスに接続されてアクセスできるようになります。

R-Link Store はマルチメディアシステムのアプリケーションストアです。ここで、安全なオンラインシステムを通じてアプリケーション、機能、サービスを購入できます。

詳細については、「R-Link Store」の項を参照してください。

接続

画面の一番下にある 接続 ボタンは、次の状態になります：

- 表示され作動：サービスが作動しておらず車両が停止している場合。
- グレー表示：サービスが作動していない、車両が停止していない、または現在接続ができない場合。
- 非表示：サービスが作動していないか、すでに作動している場合。

マイアプリケーション



「マイアプリ」 メニュー

ホーム画面で、「メニュー」、「アプリ」を押し、続いて「マイアプリ」を押し、マルチメディアシステムアプリケーションにアクセスします。

お使いのナビゲーションシステムにインストールされているアプリケーションが表示されます。必要なアプリケーションアイコンを押し、アプリケーションを起動します。

注：アプリケーションのリストに複数のページがある場合は、画面をスワイプして次のページまたは前のページに移動します。



アプリケーションを整理する

アプリケーションを整理するには、ポップアップボタンを押し、「アプリケーションの整理」を押します。

アプリケーションは、ドラッグアンドドロップすることで直接整理することができます。

削除ボタン「X」を押すと、アプリケーションを削除できます。アプリケーションを削除できない場合、削除ボタンは表示されません。

注：「アプリケーションの整理」ボタンは、走行中は無効になります。

R-LINK STORE (1/5)

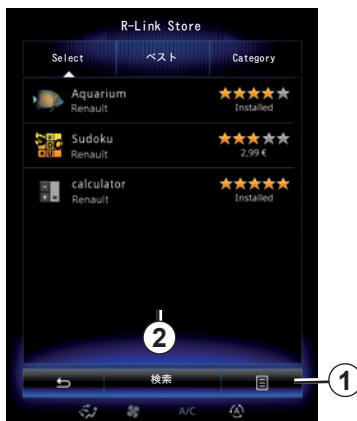


「R-Link Store」 メニュー

ホーム画面から、「メニュー」、「アプリ」を押し、続いて R-Link Store を押してオンラインストアにアクセスします。ストアでアプリケーション、サービス、コンテンツを購入できます。一度サービスを有効にすると、R-Link Store には、マルチメディアシステムから直接アクセスすることも、インターネット対応のコンピュータからアクセスすることもできます。

注意：

- いくつかのサービスとアプリケーションには手数料がかかります。詳細については、販売条件を参照してください。
- 一部の製品は、オンライン R-Link Store に接続されたコントロールユニットからのみ購入できます。その場合は、そのことを通知するメッセージが表示されます。この項の「コンピュータからアプリケーションをダウンロードしてインストールする」を参照してください。



R-Link Storeからアプリケーションをダウンロードしてインストールする

利用可能なアプリケーションは、次の3つのタブに分類されます：

- 「Select」：一連のアプリケーションを表示、
- 「トップアプリケーション」：人気の順にアプリケーションを分類、

「R-Link Store」へのアクセスは、サービスが有効で車両が停止している場合のみ可能です。

- 「Category」：アプリケーションをテーマ別（エンターテインメント、地図など）に表示、

アプリケーションを選択すると説明が表示されます。

ポップアップメニュー 1 を使用して次の機能にアクセスできます：

- 「マイプロダクト」：購入したものの概要をその製品に関連する有効期限とともに表示します、
- 「更新」を使用して、アプリケーション、サービス、コンテンツで利用可能な更新を利用できます、
- 「法的情報」には、R-Link Store に関する法的情報が表示されます。

R-Link Store でアプリケーションを検索できます。このためには、ボタン 2「検索」を押した後、検索するアプリケーションの名前のすべてまたは一部を入力します。

各国の詳細については、<https://easyconnect.renault.com>サイトを参照してください。



マルチメディアシステムでは、「My Renault」アカウントから、いくつかの支払い方法が用意されています。

「Purchase」を押して、R-Link Storeの販売条件を受諾し、支払いを行います。

注： アプリケーションの容量が大きすぎる場合、「Purchase」ボタンの表示が「インターネット購入失敗」に変わります。 詳細については、この項の「コンピュータからアプリケーションをダウンロードしてインストールする」を参照してください。

My Renault アカウントを使用して支払う

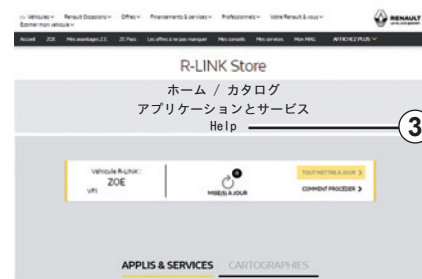
My Renault アカウントを使用して支払うには：

- アカウントの電子メールアドレスとパスワードを入力して、「OK」を押します。
- アカウントにすでにリンクされているクレジットカードまたはデビットカードを選択するか、新しいカードを追加します。
- カードの詳細を入力して、「確認」を押します。

アプリケーションのダウンロードがすぐに開始されます。 アプリケーションがダウンロードされると、そのアイコンが「マイアプリ」メニューに表示されます。

注：

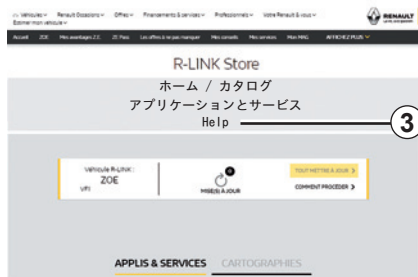
- 有効な電子メールアドレスが必要です。 請求書はこのアドレスに送信されます。購入したアプリケーションによって、ユーザーへの指示とインストールの指示も送信されます。
- この支払い方法を使用するには、最初に My Renault アカウントを作成する必要があります。 次の項の「My Renault でアカウントを作成する」の説明を参照してください。



注： アプリケーションのダウンロードにかかる時間は、アプリケーションのサイズと、モバイルネットワークの受信状態によって異なります。

クレジットカードまたはデビットカードで支払う

注： 安全上の理由から、車両からカードの詳細を直接入力することはできません。 注： 詳細については、「My Renault」アカウントから「ヘルプ」メニュー3をクリックするか、ルノー指定サービス工場にお問い合わせください。



コンピュータからアプリケーションをダウンロードしてインストールする

インターネットに接続されているコンピュータから、アプリケーションをダウンロードすることができます（大きなアプリケーションの場合に特に便利です）。コンピュータから製品を管理して、車両に応じて、USB フラッシュドライブまたは SD カードを使用してマルチメディアシステムに転送することもできます。

このマニュアル上の画面は、契約ではありません。

注意：

- 使用する USB フラッシュドライブ（または SD カード）は、FAT32 形式でフォーマットされており、最小 8GB、最大 32GB の容量が必要です。
- USB フラッシュドライブは、システムには含まれていません。
- このような製品は、www.myrenault.com からコンピュータを通じてのみ購入することができます。

My Renault ウェブサイトでアカウントを作成する

インターネットに接続されているコンピュータ経由で、www.myrenault.com からアプリケーションを購入しダウンロードするには、次の方法で最初にアカウント My Renault を作成する必要があります：

- あらかじめインターネットに接続されているコンピュータでブラウザを開き、www.myrenault.com に移動してお住まいの国を選択します、
- 「登録」ボタンをクリックして、ウェブサイトに記載されている手順に従います。

My Renault でアカウントを作成してお使いの車両を登録したら、アプリケーションのカタログを探索して製品の更新を検索できるようになります。

注：詳細については、「ヘルプ」メニュー 3 を参照するか、ルノー指定サービス工場にお問い合わせください。

外部ストレージデバイス（USB フラッシュドライブまたは SD カード）を使用してアプリケーションをインストールする

外部ストレージデバイス（USB フラッシュドライブまたは SD カード）を車両のスロットに挿入します。マルチメディアシステムは、ナビゲーションシステムで使用可能な更新を R-Link Store で特定するために、外部ストレージデバイスにナビゲーションシステムのインプリントを記憶します。

データの記録が終了したら USB キーをマルチメディアシステムから取り外すことができます。

R-LINK STORE (4/5)



更新を検索

My Renault アカウントに接続し、「すべてのサービスにアクセス」を選択した後、「アプリケーションの管理」を選択することで、R-Link Store で 4 更新を利用できます。

外部ストレージデバイス（USB フラッシュドライブまたは SD カード）をコントロールユニットのスロットに挿入します。マルチメディアシステムが自動的に新しいアプリケーションを検索してインストールします。

注意：

- 同期時には、R-LINK Toolbox ソフトウェアのインストールを求めるメッセージが表示されます。製品と更新をストレージデバイスにダウンロードするには、このソフトウェアをインストールする必要があります。
- 内部マルチメディアシステムのソフトウェアの更新は、インターネットに接続されているコンピュータ経由でしか入手できません。
- 詳細については、「ヘルプ」メニュー 3 を参照するか、指定サービス工場にお問い合わせください。
- 車両のポートに外部ストレージ デバイス（USB フラッシュドライブまたは SD カード）を挿入した後は、更新プロセスが中止される可能性があるために、マルチメディアシステム、その制御機能、または車両の任意のデバイス（電話番号、オーディオ、メディアなど）を操作しないでください。

個人データを管理する

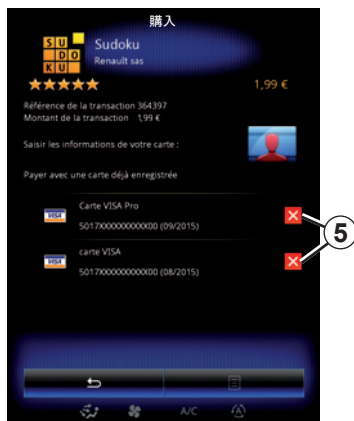
システムをリセットする

注：すべてのシステム設定をリセットするか、すべての個人データを削除するには、メインメニューで「システム」を選択し、ポップアップメニューの「工場出荷状態にリセット」ボタンを押して、画面に表示される指示に従います。

データを共有する

システムが起動したときから、データ共有を許可するか拒否することができます。「マイアプリ」メニューから「アプリケーション設定」を選択し、続いて「個人情報」を選択します。このメニューから、データ共有を有効または無効にできます。

記載されているサービスを利用できるかどうかは状況によって異なります。



クレジットカードまたはデビットカードのデータを削除する

R-Link Store で購入した場合、銀行の詳細を保存するよう依頼することができます。この場合は、詳細が My Renault アカウントに保存されます。

このデータは、R-Link Store ウェブサイト (My Renault からアクセス可能) から、または車両から直接削除することができます。これを行うには、5 を押して、消去したい銀行データを削除します。クレジットカードまたはデビットカードのデータはすぐに削除されます。

注意：

- 銀行カードデータを削除するには、車両がモバイルネットワークに接続されている必要があります。
- 銀行の詳細は、車両から保存することはできません。

アプリケーションマネージャ



「アプリマネージャー」メニュー

ホーム画面で、メニュー、アプリ を押し、続いてアプリマネージャー を押してアプリケーション管理画面にアクセスします。

システムメモリ

メモリの使用量 1 と残りの量 2 が表示されます。

情報

- 1 : メモリの使用量、
- 2 : メモリの残量、
- 3 : アプリケーションが 実行中であることを示します、
- 4 : アプリケーションの保存サイズ、
- 5 : アプリケーション名、
- 6 : アプリケーションのアイコン



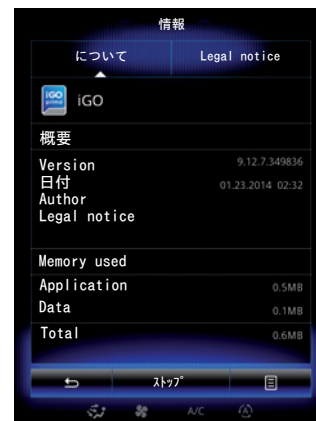
アプリケーション情報

アプリケーションに関する情報を表示するには、リストで必要なアプリケーションを押します。

「について」

について を押して次の情報にアクセスします：

- アプリケーションのバージョン、
- アプリケーションのインストール日、
- アプリケーションの作者、
- アプリケーションの説明、
- アプリケーションのメモリ使用量。



「Legal notice」

Legal notice タブを押して、使用許諾に関する情報を表示します（入手できる場合）。

注：アプリケーションが実行中の場合は、「ストップ」を押して終了します。アプリケーションによっては、アプリケーションが実行中の場合でもコントロール ストップ をグレー表示にすることができます。

アプリケーションの設定



「個人情報」メニュー

「アプリ設定」メニューで、「個人情報」を選択してプライバシーの設定にアクセスします。

「Data sharing」、

このメニューでは、データ共有を有効または無効にできます。

注：データ共有を無効にしている場合は、特定のアプリケーションが正しく機能しない場合があります。

ANDROID AUTO™, CARPLAY™ (1/4)

Android Auto™

はじめに

「Android Auto™」は、マルチメディアシステム画面から、電話でいくつかのアプリケーションの使用を可能にする、スマートフォンからダウンロードできるアプリケーションです。

注：車両が「Android Auto™」に対して互換性がある場合は、マルチメディアシステムの「システム」メニューに「1スマートフォンミラーリング」機能が含まれている必要があります。



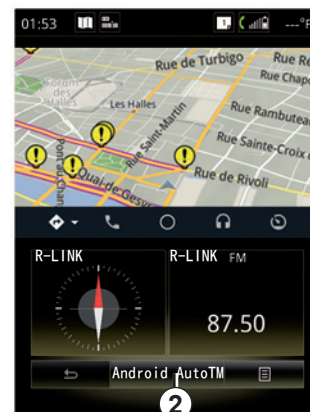
初めての使用

- スマートフォンのアプリケーションダウンロードプラットフォームの検索バーから「Android Auto™」アプリケーションをダウンロードおよびインストールします。
- マルチメディアシステムの USB ポートに電話を接続します、
- マルチファンクション画面の指示に従ってください。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

アプリケーションの機能が正常に機能するように、電話メーカーが推奨する USB ケーブルの使用をお勧めします。



- ボタン 2 を押します。
- 「Android Auto™」アプリケーションを使用するには、スマートフォンでリクエストを受け入れます。
- 電話で「承認」を押して確認します。
- もう一度ボタン 2 を押します。

アプリケーションがマルチメディアシステムで起動します。上記の手順が失敗した場合は、同じ操作を繰り返してください。

ANDROID AUTO™, CARPLAY™ (2/4)

CarPlay™

はじめに

「CarPlay™」は、マルチメディア システム画面から、電話でいくつかのアプリケーションの使用を可能にする、スマートフォンで利用可能なネイティブサービスです。

注：車両が「CarPlay™」サービスに対して互換性がある場合は、マルチメディアシステムの「システム」メニューに「1スマートフォンミラーリング」機能が含まれている必要があります。



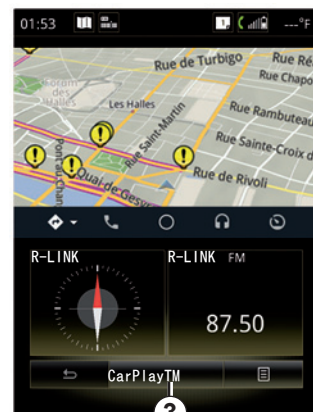
初めての使用

- マルチメディアシステムの USB ポートに電話を接続します、
- マルチファンクション画面の指示に従ってください。
- ボタン 3 を押します。

アプリケーションの機能が正常に機能するように、電話メーカーが推奨する USB ケーブルの使用をお勧めします。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



CarPlay™ サービスがマルチメディアシステムで起動します。

上記の手順が失敗した場合は、同じ操作を繰り返してください。

CarPlay™ サービスが実行されると、マルチメディア画面の下部表示が変化します。

- 進行中のルートがない場合、コンパスが表示されます。
- ルートが進行中の場合、ルートの詳細が表示されます。

注：スマートフォンが車両の USB ポートに接続している場合、「CarPlay™」サービスのみが動作します。

ANDROID AUTO™, CARPLAY™ (3/4)



マルチメディアシステムで Android Auto™ アプリケーションまたは CarPlay™ サービスが有効になると、マルチメディア画面の表示が小さくなります。

- 進行中のルートがない場合、コンパスが表示されます。
- ルートが進行中の場合、ルートの詳細が表示されます。

Android Auto™ または CarPlay™ を実行している場合は、スマートフォンのナビゲーション機能および音楽アプリケーションを利用できます。これらのアプリケーションは、すでに起動している R-Link に統合された同様のアプリケーションに代わるものです。たとえば、Android Auto™/CarPlay™ ナビゲーションアプリケーションまたはマルチメディアシステムに組み込まれたアプリケーションを使用することができます。

ボタン 4 は、アプリケーションが Android Auto™ または CarPlay™ を介して、またはマルチメディアシステムから実行されているかどうかを通知します。

Android Auto™ または CarPlay™ を使用している場合、いくつかのマルチメディアシステムの機能はバックグラウンドで実行され続けます。たとえば、マルチメディアシステムでラジオの再生中に、「Android Auto™」または「CarPlay™」を始動して、スマートフォンでナビゲーションを使用しても、ラジオの受信は継続されます。

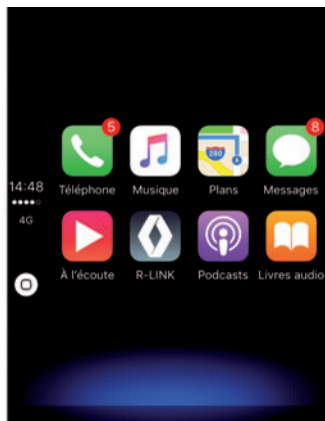
注記：

- Android Auto™ および CarPlay™ アプリケーションは、スマートフォンが車両の USB ポートに接続されている場合にのみ機能します。
- 電話の設定からマルチメディア画面を設定することができます。

Android Auto™ および CarPlay™ 機能は、お使いの電話のメイクおよびモデルによって異なります。詳しくは、製造元の Web サイトを参照してください。



「Android Auto™」アプリケーションまたは「CarPlay™」サービスがマルチメディア システム上で作動すると、車内で音声認識ボタンを使用して、音声によってスマートフォンのいくつかの機能を制御できます。このためには、車両のハンドルのボタン 5 を長押しします（詳細については、「音声認識の使用」に関するセクションを参照してください）。



R-Link インターフェイスへの復帰

R-Link インターフェイスに復帰するには:

- マルチメディアシステムのフロントパネルまたは中央コントロールで「ホーム」ボタンを押します、

または

- マルチメディアシステム画面でボタン 6 を押します。



ポップアップメニュー

ポップアップメニュー 7 には、次のオプションがあります。

- デバイスのリスト、
- マルチメディアシステム取扱説明書、
- サウンド設定。

車両

ムードランプ.	6.2
シート.	6.3
マルチセンス.	6.6
エアコンディショナー.	6.8
トリップコンピューター.	6.9
パーキングアシスト.	6.12
ドライブエコ 2.	6.16
オンボードコンピューター.	6.20
エアクオリティセンサ.	6.21
タイヤ規定空気圧.	6.22
ユーザー設定.	6.23

ムードランプ



「環境光」

ホームページで、「メニュー」、「車」、「環境光」の順に押します。

このメニューで、次の設定を行うことができます：

- ムードランプ「ON」/「OFF」、
- ムードランプ、
- 明るさ、
- エリア。

「環境光」

このオプションで、ムードランプを作動または解除することができます。

注意：「環境光」機能を解除すると、設定は使用できなくなります。

注：車両に Multi-Sense が装備されている場合は、「Multi-Sense」セクションを参照し、ポップアップメニューから「環境光」、「Current mode configuration」の順にアクセスします。



色の選択

提示された色の 1 つを選択して、車両のムードランプの色を変更します。

「濃度」

ムードランプの明るさを調整できます。調整するには、+ ボタンまたは - ボタンを押します。

室内のエリア

選択した色と明るさは、次のエリアに適用されます：

- ダッシュボード、
- フロント室内、
- リア室内。

選択した色と明るさで、「ON」を押して適用します。

ポップアップメニュー

設定をリセットしてデフォルト設定に戻すには、ポップアップメニューボタンを押して、次に **リセット** を押します。

注： ユーザープロファイルに必要なムードランプの設定を保存するには、「Multi-Sense」メニューから調整を行います。詳細については、「Multi-Sense」の項を参照してください。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

シート (1/3)

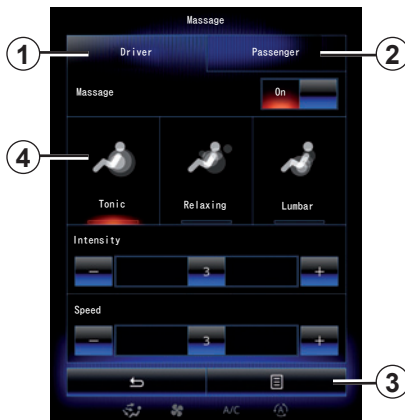


「シート」メニュー

ホーム画面で、「メニュー」、「車」を押し、続いて「シート」を押して次のサブメニューにアクセスします。

- 「Massage」、
- 「One-touch folding」、
- 「設定」。

注：ユーザープロフィールに必要な設定を保存するには、「Multi-Sense」メニューから調整を行います。詳細については、「Multi-Sense」の項を参照してください。



「Massage」

このメニューを選択して、マッサージシートを制御します。

- 「Driver」または「Passenger」。
- 「ドライバー」1 または「助手席」2 を選択して、マッサージシートの動作を調整します。
- 「On」 / 「Off」。
- 「マッサージ」を押してから、「On」または「Off」を押して、すでに選択済みのタブに基づいて、運転席または助手席のマッサージシートを作動または作動解除します。

- 4 現在選択されているプログラム。

次の 3 つのプログラムの 1 つを選択できます。

- 「Tonic」、
- 「Relaxing」、
- 「Lumbar」。

+または「-」を押して、マッサージの「濃度」と「Speed」を調整します。

注：「Multi-Sense」メニューの「Perso」モードでは、運転席のマッサージ設定のみを記憶できます。助手席のマッサージ設定は記憶できません。

ポップアップメニュー

選択内容をリセットする場合は、3 を押し、次に「リセット」を押します。

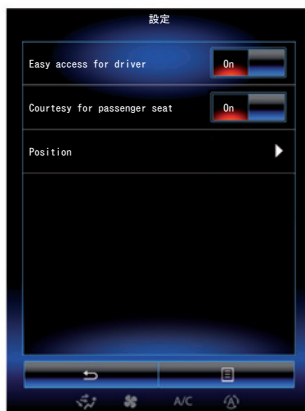


「One-touch folding」

この機能を使用すると、リアシートを折りたたむことができます。シートの数は異なる場合があります。

- 折りたたむシートに対応するボタンを押してから、「Fold」を押します。画面にメッセージが表示されます。
- 「はい」を押して確認します。

すべてのシートを折りたたむには、「All」を押してから、「Fold」を押します。



「設定」

「シート」メニューで「設定」を押して、変更する要素を次から選択します。

- 「Easy access for driver」、
- 「Courtesy for passenger seat」、
- 「Position」。

「Easy access for driver」

「ON」または「OFF」を押して、この機能を作動または解除します。これらの機能を作動させた場合、運転者が車両を離れるとシートが自動的に後退し、運転者が車両に戻るとシートが所定に位置に戻ります。

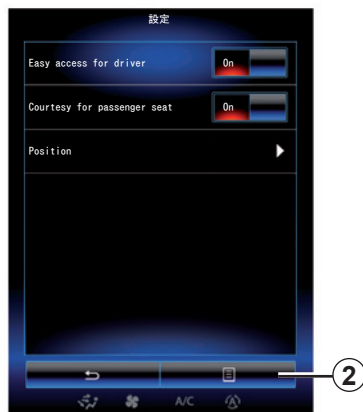
詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

「One-touch folding」機能は、車両が停止している場合のみ使用できます。



リアシートを操作する際は、シートの固定を妨げる異物が挟まっていないことを確認してから行ってください（体の一部、ペットや動物、小石、布、おもちゃなど）。

シート (3/3)



「Courtesy for passenger seat」

「ON」または「OFF」を押して、この機能を作動または解除します。作動させると、運転者は運転席のスイッチから助手席シートを制御できます。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。



「Position」

運転席のドライビングポジションとドアミラーの位置も、ユーザープロフィールに保存できます。詳細については、「システム」の項を参照してください。

「シート」メニューから「設定」を押し、続いて「Position」を押します。

「Visual feedback」

この機能を作動させると、運転者または同乗者がシートの位置を調整した時に、画面にポップアップ設定ウィンドウが表示されます。

シート調整の詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

「Save」

この機能で、フロントシートの位置が保存されます：

- シートのスイッチを使用して、シートの位置を調整します。
- シートスイッチを押して、マルチ機能画面の「シート」メニューを開きます。
- 現在の位置を保存する。

詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

シートでメモリーを呼び出すとき
車両を停止させ、「コールバック」を押して保存された位置に移動します。画面に確認のメッセージが表示されます。保存された位置に戻るには、「はい」を押します。

「リセット」

「設定」メニューで選択内容設定をリセットするには、2 を押してから「リセット」を押します。

MULTI-SENSE (1/2)



メニュー

"Multi-Sense"

ホーム画面から、メニュー を押し、続いて 車、Multi-Sense を押して Multi-Sense メニューにアクセスします。 センターコントロールで Multi-Sense を押してメニューにアクセスすることもできます。

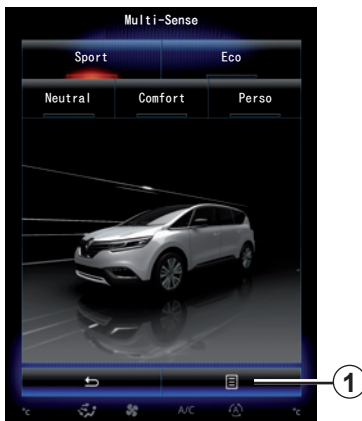
モードを選択する

「Multi-Sense」メニューで、使用可能なモードの 1 つを選択します。

- 「Comfort」、
- 「Sport」、
- 「Eco」、
- 「Neutral」、
- 「Perso」。

これらのモードの詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

注: 車両によっては、車両を再始動すると、最後のアクティブモードが記憶されません。 デフォルトでは、車両は「Neutral」モードで再始動します。

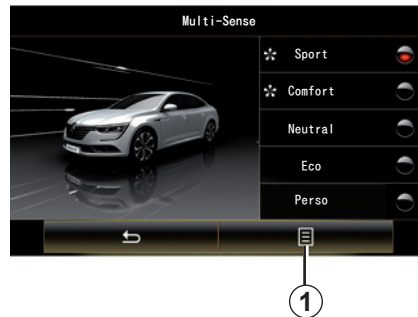


モードの設定

1 を押し、次に「Current mode configuration」を押します。

車両システムをカスタマイズするために、次のようなさまざまなパラメータが用意されています：

- 「Steering」、
- 「4RD」、
- 「Damping」、
- 「Powertrain」、
- 「Thermal comfort」、
- 「ディスプレイ」、
- 「エンジンサウンド設計」、
- 「環境光」、
- 「Driver massage」。

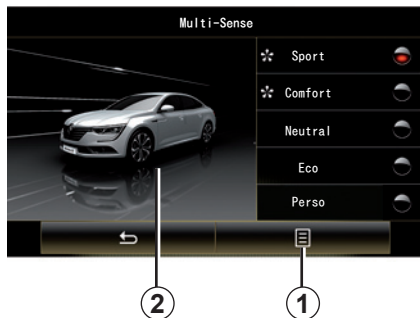


注: いくつかのモードで、システムのいくつかのオプションがグレー表示になっている場合、これらのパラメータ値は選択できません。

注: 現在使用中のモードをカスタマイズできるのは、最初に「Perso」モードを選択している場合のみです。

Multi-Sense モードのデモを見ることができるビデオもあります。車両を停止させて、1 を押してからバージョン情報 を押します。

MULTI-SENSE (2/2)



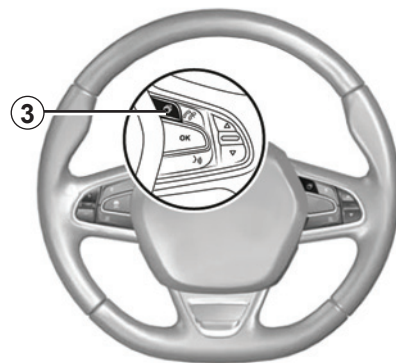
お気に入りのモードへのクイックアクセス

マルチメディア画面に「Multi-Sense」メニューが表示されたら、「Multi-Sense」コントロールを続けて押すことで、すでに選択している 2 つのお気に入りのモードを切り替えることができます。2 つのお気に入りのモードを設定するには、1 を押した後で「Customize preferred modes」を押します。



パラメータ値のリセット

1 を押し、次に「Reset current mode」を押してデフォルト値に戻します。選択したモードによっては、Dual 機能を ON にして調整できません。この機能の詳細については、取扱説明書の 3 章を参照してください。



テーマの設定

画面 2 またはポップアップメニュー 1 を押し、「Current mode configuration」を押して表示スタイルを設定します。

選択したスタイルに応じて、中央コントロールの 3 ボタンまたはノブ 22 を押すと、インストルメントパネルに次のような情報を表示できます： ルートの方向の表示、現在のオーディオソース、コンパス、エンジン出力、トルク、消費電流など。

たとえばムードランプやマッサージ機能など、現在のモード設定をカスタマイズした場合、設定はユーザープロフィールに自動的に保存されます。

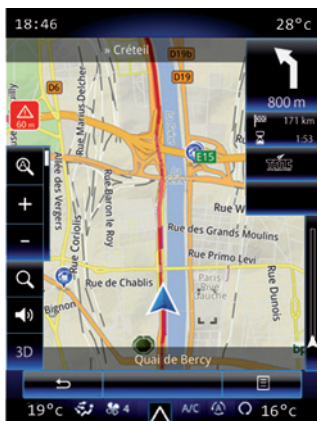
エアコンディショナー



① エアコンディショナー

エリア 1 を押して、マルチメディア画面からエアコンメニューを開くことができます。

装備レベルに応じたエアコンの設定の詳細については、車両の取扱説明書の「Climate」項を参照してください。



いつでも、エリア 1 をもう一度押して、さまざまなマルチメディアシステムメニューに戻ることができます。

この領域は、選択した温度、機能、および送風速度を連続的に表示します。

モードECO装備車

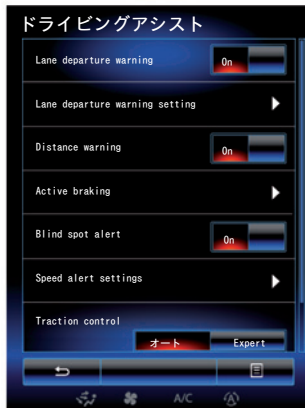
ECOモードが作動している時には、オートエアコンディショナーの性能が低下する恐れがあります。車両の取扱説明書の「ドライビングアドバイス」セクションのエコドライビング情報を参照してください。



「ドライビングアシスト」メニュー

ホーム画面から、「メニュー」、「車」を押し、続いて「ドライビングアシスト」を押して次の項目にアクセスします。

- 「Lane departure warning」、
- 「Lane keeping assist」、
- 「Lane departure warning setting」、
- 「Lane keeping assist settings」、
- 「Distance warning」、
- 「Active braking」、
- 「Blind spot alert」、
- 「Speed alert settings」、
- 「Traction control」、
- 「Automatic high beam」。



「Lane departure warning」

このシステムは、ドライバーが車線を無意識に離脱していることを知らせます。詳しくは取扱説明書を参照してください。

このシステムを作動させるには、 または「On」を選択します。



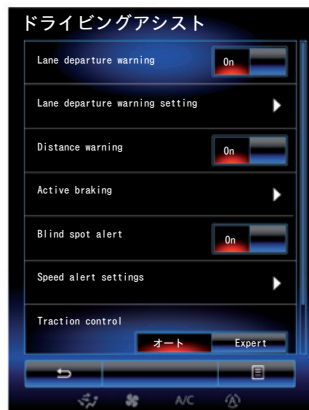
安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



「Lane keeping assist」

このシステムは、ドライバーが連続線または破線が無意識に離脱していることを知らせ、ステアリングシステムの修正を行います。車両の進行方向の修正を行います。詳しくは取扱説明書を参照してください。

このシステムを作動させるには、 を選択します。



「Lane departure warning setting」

このメニューを押して、警報の音量と車線離脱警報の感度を調節します。

- 「ボリューム」：警報の音量を調節するには、「+」または「-」を押します（5段階）。
- 「Sensitivity」：警報の感度を調節するには、「Low」、「Middle」、または「High」を選択します。

注：「Lane departure warning」が「OFF」の場合、「Lane departure warning setting」機能はグレー表示になり、アクセスできません。



「Lane keeping assist settings」

このメニューを選択して、ステアリングホイールの振動の強さと車線逸脱警告の感度を調整します。

- 「Vibration」：「Low」、「Middle」、または「High」を選択して、マッサージシートの振動の強さを調整します。
- 「Sensitivity」：警報の感度を調節するには、「Low」、「Middle」、または「High」を選択します。

注：「Lane keeping assist」が作動解除されている場合、「Lane keeping assist settings」メニューはグレー表示になり、アクセスできません。

「Distance warning」

このシステムは、他の車両に接近しすぎた場合にドライバーに警告します。このシステムを作動させるには、「On」を選択します。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

「Active braking」

このシステムは、衝突の危険がある場合にドライバーに警告します。このシステムを作動させるには、「On」を選択します。詳しくは取扱説明書を参照してください。

「Blind spot alert」

このシステムは、他の車両が死角に入っている場合にドライバーに警告します。このシステムを作動させるには、「On」を選択します。詳しくは取扱説明書を参照してください。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

トリップコンピュータ (3/3)

「Speed alert settings」

「Speed warning」

このシステムは速度違反を検出して、インストルメントパネルでドライバーに知らせます。このシステムを作動させるには、「0n」を選択します。詳しくは取扱説明書を参照してください。

「速度超過アラート」

速度制限を上回った場合に、信号音によってドライバーに警告します。このシステムを作動させるには、「0n」を選択します。

注：速度制限超過アラートが無効化されている場合は、速度超過アラートと速度超過アラート音を有効にすることができません。

「Risk area」

このシステムは、速度チェック区間または危険なエリアに入ったときに、インストルメントパネルでドライバーに知らせます。このシステムを作動させるには、「0n」を選択します。

注：「Speed warning」が作動していない場合、「Risk area」機能は自動的に作動解除されます。

「Traction control」

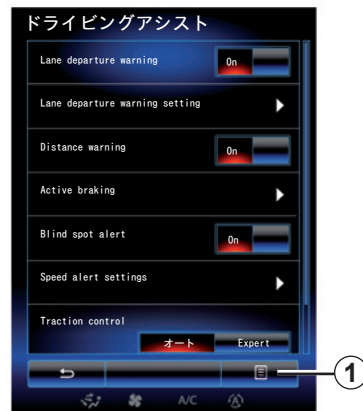
このシステムは、加速時または減速時のホイールスピン（空転）を抑え、車両の制御をサポートします。次のモードを選択できます：

- 「オート」、
- 「Expert」。

詳しくは取扱説明書を参照してください。

「Automatic high beam」

このシステムは、ハイビームを自動的に点灯または消灯させます。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。



再初期化

選択内容をリセットする場合は、1 を押し、次に リセット を押します。

パーキングアシスト (1/4)

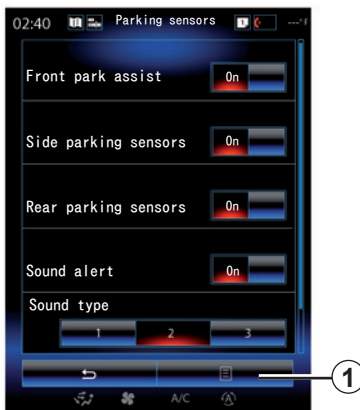


「パーキングアシ スタント」メニ ュー

ホーム画面から、メニュー、車 を押し、続いてパーキングアシスタントを押して次の要素にアクセスします。

- 「Parking sensors」、
- 「Rear view camera」、
- 「Easy park assist」。

注：上記の 3 つの要素をリセットしてデフォルト設定に戻すには、1 を押してから「リセット」を押します。



「Parking sensors」、

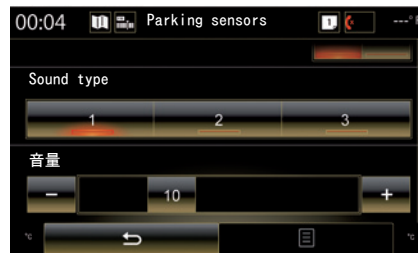
On または OFF を押して、フロント、サイド、またはリアパーキングセンサを作動または作動解除することができます。

「Sound alert」

On または OFF を選択して、自動パーキングアラートを作動または作動解除します。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



注：「Sound alert」機能が「OFF」に設定されている場合、「サウンドタイプ」機能と「音量」機能は作動解除されます。

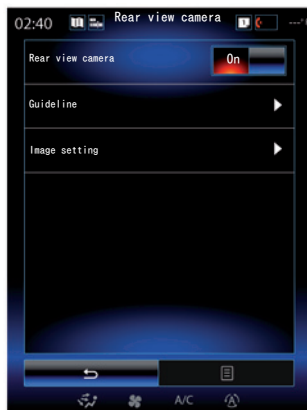
「Sound type」

用意されている 3 つの警報からタイプを 1 つ選択します。

「音量」

+ または - を押して、障害物検出を調整します。

パーキングアシスト (2/4)



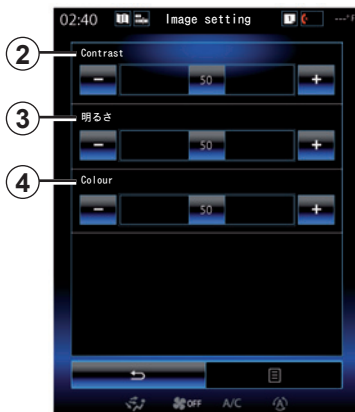
「Rear view camera」

「On」または「OFF」リアビューカメラを選択して、システムを作動または作動解除します。

「Guideline」

ガイドはパーキングの補助アシストとなります。

Rear view camera メニューで Guideline を押して、On またはOFF を選択してガイド機能を作動または作動解除します。



「Image setting」

「Rear view camera」メニューで、「Image setting」を押して次の設定を調整します：

- 「Contrast」2、
- 「輝度」3、
- 「カラー」4。

「+」または「-」を押して、各設定を調整します。

注：この設定は、リアビューカメラが有効な場合に使用できます。



注： 走行時に、後方カメラの設定は使用できません。メッセージ：「Unavailable while driving」がマルチメディア画面に表示され、メニューはグレーで点灯します。

パーキングアシスト (3/4)



パーキングアシスト

パーキングアシストシステムは、車両の正面、後方、両側の障害物を検出します。車両が障害物に接近すると、警告を出します。

この機能は、車速が 12 km/h 以下になると自動的に起動します。有効になると、A ディスプレイがマルチメディアシステム画面に表示されます。マルチメディア画面で 5 ボタンを押して、パーキングアシスト画面を閉じることができます。

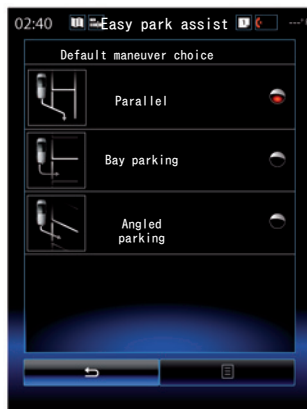


パーキングアシストの詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

パーキングアシスト (4/4)

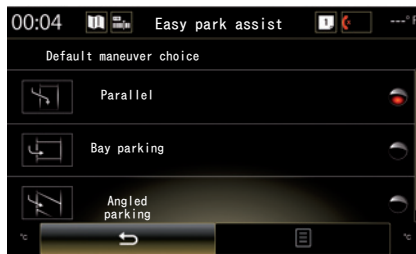


「Easy park assist」

次のオプションの 1 つを選択して、デフォルトの動きを選択します：

- 「Parallel」、
- 「Bay parking」、
- 「Angled parking」。

Easy park assist 機能の詳細については、取扱説明書を参照してください。





メニュー

"Driving eco2"

ホーム画面で メニュー、車を押してから Driving eco2 を押して、次のメニューにアクセスします：

- 「スタンダード」、
- 「詳細」、
- 「Ecoコーチング」。



「スタンダード」

この画面で、次のような現在の行程のデータを表示することができます：

- スコアの展開、
- 「合計評価」、
- 「燃料消費を伴わない距離」。

スコアの展開

このバーダイアグラムは、スコアの展開状況を表示します。

- 緑のライン（75%）以上のスコア：エコドライブング、
- 橙色のライン（45%）以下のスコア：非エコドライブング。



「合計評価」

このデータで、全体のスコアを表示することができます。

このシートは、スコアに基づいて 0 から 100 の間で更新されます。

「燃料消費を伴わない距離」

このデータで、行程中に燃料消費なしで移動した距離を表示できます。

DRIVING ECO2 (2/4)



「詳細」

この画面は、次のような現在の行程に関する情報を表示します：

- 日付、
- スコアの内訳、
- 全体スコア、
- 燃料消費なしの距離。

行程データ

次のオンボードコンピューターのデータが表示されます：

- 総走行距離、
- 平均速度
- 平均燃費。



スコアのトレンド 1

矢印の位置は次の内容を示します：

- 新しいスコアが以前の行程のものよりも高い場合：上矢印、
- 新しいスコアが以前の行程のものよりも低い場合：下矢印、
- 新しいスコアが以前の行程のものと
同じ場合：矢印が水平に表示される。

スコアの履歴 2

次の項目に基づいて、スコア（0 ～ 10）により星の数（5 レベル）が決まります：

- 加速、
- ギアチェンジ、
- 予測。

全体スコアと燃料消費なしの距離

詳細については、前のページを参照してください。

「Ecoコーチング」

このメニューは、ドライビングのスタイルを監視して、エコドライビングに関する一般的なアドバイスを提供します（効率的に燃料を燃焼させる動作、車両への負荷のかけ方、タイヤの空気圧、行程のプランニングなど）。

このメニューにアクセスするには、Ecoコーチング を押してアドバイスを注意深く読んでください。「一般的」、「加速」、「ギアチェンジ」と「予測」を押すと、ページをスクロールすることができます。

注：「Ecoコーチング」は次のケースで作動解除となります：

- 車両の速度が Ecoコーチング しきい値よりも低い場合、

注：デフォルトの「Ecoコーチング」しきい値は、約 10 km/h です。

- 最後のリセット以降の走行距離が 400 メートル以下の場合。



新たな行程を開始

行程をリセットする場合は、3 を押し、次に 新しい走行を開始 を押します。メッセージが表示されて、データのリセットを確認するよう求められます。「はい」を押して確認するか、「いいえ」を押してキャンセルします。

注：オンボードコンピュータの行程データも同時にリセットされます。

スコア展開の消去

スコアをリセットする場合は、3 を押し、次に「履歴削除」を押します。画面に確認のメッセージが表示されます。「はい」を押して履歴を削除するか、「いいえ」を押してキャンセルします。

「お気に入りの走行」

「Driving eco2」メニューから、「3」を押し、続いて「お気に入りの走行」を押します。



「走行後にレポートを表示」

行程後の記録を表示するには、「Driving eco2」メニューで 3 を押し、続いて「走行後にレポートを表示」を押します。「走行後にレポートを非表示」を押して、行程記録を非表示にします。



「走行の追加」

現在の行程を保存するには、「お気に入りの走行」メニューで行程タイプの 1 を押し、続いて「走行の追加」を押します。メッセージが表示されて、確認するよう求められます。行程のタイプは次のとおりです：

- 「Home-work」、
- 「週末」、
- 「休日」、
- 「Personal」。



データをリセットするには、「お気に入りの走行」メニューからリセットしたい行程タイプを押し、続いて 4 と「走行履歴のクリア」を押します。画面に確認のメッセージが表示されます。はい を押してすべての行程を削除するか、いいえ を押してキャンセルします。

注：選択した行程タイプのデータのみが削除されます。

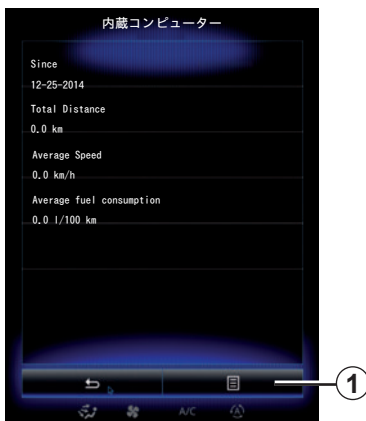
オンボードコンピューター



「内蔵コンピューター」メニュー

ホーム画面から、「メニュー」、「車」を押し、続いて「内蔵コンピューター」を押し、次のメニューにアクセスします。

- Since（最後にリセットした日付）、
- 「Total Distance」、
- 「Average Speed」、
- 「Average fuel consumption」



オンボードコンピュータとインストールメントパネルの情報をリセットするには、1 を押してから「リセット」を押します。



エアクオリティセンサ



「大気質」メニュー

ホームページの画面で、「メニュー」、「車」、「大気質」の順に押します。

「大気質」メニューには、車両のエア濾過システムの画像と説明が表示されます。

空気清浄サイクルの ON/OFF

装備によって、「ON」または「OFF」を選択することにより、エア濾過サイクルを有効または無効にすることができます。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。



設定値のリセット

この機能は、設定値をデフォルト値に戻します。1 を押し、次に「リセット」を押してリセットします。

タイヤ規定空気圧



「タイヤ空気圧」メニュー

メニューから、「車」を押し、続いて「タイヤ空気圧」を押します。



タイヤ空気圧の状態

このシステムはタイヤの空気圧が十分あることを（マルチメディア画面を通じて）ドライバーに知らせ、空気圧が不十分またはパンクの際は警告を発します。タイヤ空気圧の詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。



再初期化

この機能で、「リセット」を押してリセットすることができます。リセットが終了したら、画面に確認のメッセージが表示されます。タイヤ空気圧の詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

ユーザー設定



「ユーザー設定」メニュー

「車」メニューから「ユーザー設定」を選択します。

このメニューで次のオプションを有効または無効にできます：

- 「自動ドアロック」、
- 「無線通話ロック／ロック解除」：ハンズフリーのドア開／閉を有効にします。ハンズフリーモードの詳細については、取扱説明書を参照してください。
- 「方向指示器音量の操作」：「+」または「-」を押して調整、
- 「Internal welcome sound」、
- 「ウェルカムライト」、
- 「自動車内照明」、



- 「リバースギア作動時の後部ワイパー」：リバースギアにシフトすると、リアワイパーが作動。

注：このオプションは、フロントワイパーが作動している場合のみ作動します。

- “運転スタイルインジケータ”。



注：すべてのポップアップメニューをリセットするには、1 を押してから、リセット を押します。



システム

システム	7.2
作動異常	7.8
	7.1

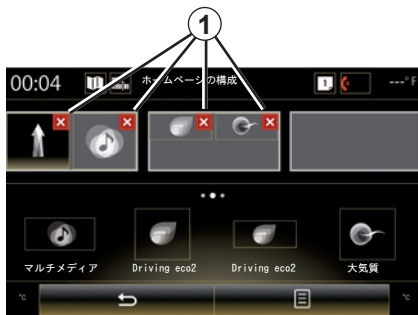
システム (1/6)



「システム」メニュー

システム設定にアクセスするメインメニューで「システム」を押します。「システム」メニューボタンを押して、次の要素の設定と調整を行います：

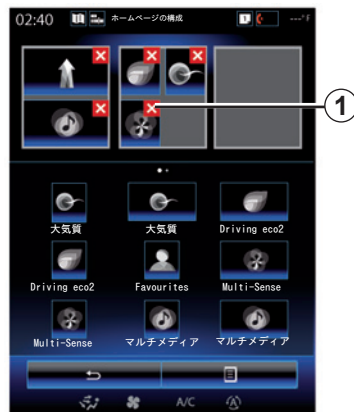
- 「ホームページ」、
- 「ユーザープロフィール」、
- 「ディスプレイ」、
- 「ブライトネス」、
- 「ボリューム」、
- 「言語」、
- 「キーボード」、
- 「日時」、
- 「単位」、
- 「音声コマンド」、
- 「System information」、
- 「設定」、
- 「工場出荷状態にリセット」
- 「スマートフォンミラーリング」。



「ホームページ」

このメニューで、ホームページの内容を設定します。画面の上部に、使用可能な3つのホームページがプレビューとして表示され、選択することができます。

使用可能なウィジェットは画面の一番下にあり、いくつかのページに表示できます。



使用するウィジェットを押したままにして、3つのホームページの1つにドラッグアンドドロップして表示します。

ホームページで選択したアプリケーションを削除するには、プレビューエリアでアプリケーションに表示されている「X」と「1」を押します。

詳細については、「ウィジェットの追加と管理」の項を参照してください。

システム (2/6)



「ユーザープロフィール」

このメニューで、システムに適用するユーザープロフィールを選択します。使用するユーザープロフィールを選択します。

ユーザープロフィールの名前を変更する

2 を押した後で「Rename」を押して、デジタルキーパッドを使用してプロフィール名を変更します。



ユーザープロフィールの写真を変更する

2 を押し、次に「Change photo」を押します。保存されている画像リストまたは外部ストレージデバイス（USB キー、SD カードなど）から画像を選択できます。これを行うには、3 を押した後で「Custom image」を押して外部ストレージデバイスを選択します。



プロフィールの複製とリセット

ポップアップメニュー「2」>「Duplicate」を押して、削除する他のプロフィールを選択します。選択したプロフィールが削除され、コピーしたプロフィールに置き換えられます。

選択したプロフィールをリセットするには、ポップアップメニュー 2 を押した後で「Reset current profile」を押します。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

システム (3/6)

ユーザープロフィールにリンクさせた内容

次の設定がユーザープロフィールに保存されます：

- システム言語、
- 距離の単位（使用可能な場合）、
- ホームページの設定、
- 画面の設定、
- Multi-Sense 調節。
- ムードランプの設定、
- ドライバのシートの調節、
- ドアミラーの調節
- メッセージの設定、
- プリセット、
- ラジオの設定、
- ナビゲーションの設定
- ナビゲーションの履歴、
- ナビゲーションのお気に入り、
- プライバシーの設定。



「ディスプレイ」

このメニューを使用して次の情報にアクセスできます：

- 「Central display」、
- 「Cockpit display」、
- 「Head-up display」。



「Central display」

「ネガティブテーマ」または「ポジティブテーマ」を選択して、マルチメディア画面の外観を変更します。

画面の明るさを昼 / 夜に調整するには、「+」または「-」を押します。

注：「Dimming day mode」の設定は夜間無効になり、「Dimming night mode」の設定は昼間無効になります。



「Cockpit display」

このメニューを使用して、「Dimming night mode」を調整します。

「+」または「-」を押して明るさを調整します。

注：「Dimming night mode」機能は、ヘッドランプを ON にした場合にのみ作動します。

レベル（明るさ、音量など）を調整するには、「+」、「-」を押すか、または数字をスクロールします。

システム (4/6)



「Head-up display」

このメニューでは、次の設定を調整できます：

- 作動または解除：「On」または「OFF」を選択して、「Head-up display」機能を作動または解除します。
- 「Dimming auto」：「On」を選択して、明るさを自動的に調整します。
- 「Dimming day mode」：「+」または「-」を押して、レベルを調整します。
- 「Dimming night mode」：「+」または「-」を押して、レベルを調整します。

注：

- 注意：「Dimming auto」機能が作動すると、このオプションは自動的に作動解除されます。
- 注：「Dimming day mode」の設定は夜間無効になり、「Dimming night mode」の設定は昼間無効になります。

- 高さ：上矢印または下矢印を押して、ヘッドアップディスプレイの高さを調整します。

注意：これらの設定は、ヘッドアップディスプレイを作動させた場合のみ使用できます。



「明るさ」

このメニューで、次の明るさを調節できます：

- インストールメントパネル、
- マルチメディア画面、
- ヘッドアップディスプレイ。

「+」または「-」を押して、レベルを調整します。



「ボリューム」

このメニューでは、「+」または「-」を押して次の設定を調整できます：

- メインボリューム、
- 電話の呼び出し音、
- 電話通信、
- ナビゲーション、
- 警告：
- ボタンのサウンド、
- インジケータの音量：
- 障害物の検出、
- 車線離脱警告
- 音声制御。

選択内容設定をリセットするには、ポップアップメニューボタンを押し、「リセット」を押します。

注：

- 0 = ミュート
- 使用可能な設定は状況によって異なります。

システム (5/6)



「言語」

このメニューで、車両に適用する言語を選択します。 使用する言語を選択します。



「キーボード」

このメニューで、システムで使用されている次のタイプの仮想キーパッドを選択できます：

- 「アルファベット」、
- 「AZERTY」、
- 「QWERTY」、
- 「QWERTZ」、
- 「キリル文字」、
- 「ギリシャ文字」、
- 「アラビア語」、
- 「ヘブライ語」、
- 「ヒンディー語」、
- 「ペルシャ語」。

再初期化

ポップアップメニューボタンを押し、「リセット」を押してデフォルト値に戻します。



「日付と時間」

このメニューで、システム時計と時間表示の形式を設定します。 オートモードの使用を推奨します。



「単位」

このメニューでは、距離の単位（「km」または「マイル」）を選択できます。



「音声コマンド」

このメニューで、男性の声と女性の声を選択できます。



「System information」

このメニューには、システムに関するさまざまな情報が表示されます。

- ソフトウェアのリリース、
- ブートバージョン、
- ネットワークステータス、
- HUID 情報、
- ライセンス、
- ナビゲーション情報、
- 現在の言語、
- システムの更新。



「設定」

このメニューを使用すると、走行中でも通知を表示することができます。次のカテゴリの通知の表示を有効または無効にできます：

- 「通知」、
- 「ナビゲーション」、
- 「Multimedia」、
- 「電話」、
- 「車」、
- 「アプリ」、
- 「システム」、
- 「Others」。

注：「Notifications」機能が作動していない場合、上記のカテゴリは自動的に作動解除されます。

「工場出荷状態にリセット」

この機能で、すべてのシステム設定を工場出荷時の設定に戻します。すべてのデータと設定が削除されます。

全体リセットを実行するには、「システム」でポップアップメニューボタンを押して、「工場出荷状態にリセット」を押します。

画面に確認のメッセージが表示されたら、「はい」を押して確認します。

注：

- リセット後に、システムは工場出荷時に設定された言語で再起動します。言語を変更するには、この章の関連する項を参照してください。
- 「工場出荷状態にリセット」機能とは異なり、フロントパネルの ON/OFF ボタンを押し続けてシステムをリセットしても、データは失われません。



「スマートフォンミラーリング」

このメニューを使用して次の機能にアクセスできます：

- 「自動起動」：マルチメディアシステムで「Android Auto™」または「CarPlay™」が自動的に起動します。
- 「説明」：マルチメディアシステム画面を使用して「Android Auto™」および「CarPlay™」アプリケーションを使用するチュートリアルを表示します。

詳細については、マルチメディアシステムで「システム」メニュー画面のポップアップメニューボタンを押して「ユーザーマニュアル」を押すと表示される、ユーザーマニュアルを参照してください。

作動不良 (1/3)

システム		
不具合	原因	解決法
画像が全く表示されない。	画面がアイドル状態です。	画面がアイドル状態でないか確認。
音が出ない。	音量が最小か一時停止になっています。	音量を上げるか一時停止を解除します。
左、右、前方、後方のスピーカーから音が出ない。	balanceまたは fader の設定が正しくない。	サウンド balanceまたは fader を正しく調整してください。
画面がフリーズしている。	システムメモリが飽和状態です。	マルチメディアシステムの ON/OFF ボタンを長押しして（システムが再起動するまで押し続ける）、システムを再起動します。
エンジンがオフになった後、画面が短時間消えます。ユーザーは車内にいます。	ハンズフリーカードが車両で検出されなくなる可能性があります。	ハンズフリーカードを専用エリアに入れます。車両の取扱説明書を参照してください。

作動不良 (2/3)

ナビゲーション		
不具合	原因	解決法
画面上の車両の位置が実際の位置と一致しない、または画面上の GPS 警告灯がグレーまたは黄色のままになっている。	GPS受信が原因で、間違った位置が測定されています。	GPS信号を良好に受信できる場所まで車を移動させてください。
画面上に提示される情報が、実際とは異なっています。	地図が古くなっています。	www.myrenault.com から更新をダウンロードします。
交通の流れが画面に表示されない。	ガイドがオフになっています。	ガイドがオンになっているか確認してください。 目的地を確認してガイドを開始します。
メニュー項目の一部が使用できません。	使用中のコマンドに関係する一部の項目が使用できません。	
音声ガイドが使用できない。	ナビゲーションシステムが交差点を認識しない。 音声ガイドまたはガイドがオフになっています。	音量を上げて下さい。 音声ガイドがオンになっているか確認して下さい。 ガイドがオンになっているか確認してください。
音声ガイドが実際と異なっています。	音声ガイドは、環境によって異なる場合があります。	実際の状況に応じて運転してください。
提案ルートが開始されない、もしくは希望目的地で終了しない。	システムが目的地を認識していない。	希望する目的地の近くの道路を入力します。
システムが迂回路を自動的に計算しません。	優先回避エリア設定または交通規制は、ルート計算に影響を与えます。	交通設定メニューで、「Detour」機能を解除します。

作動不良 (3/3)

電話		
不具合	原因	解決法
音と呼び出し音が聞こえません。	携帯電話の電源が入っていないかシステムに接続されていません。 音量が最小か一時停止になっています。	携帯電話の電源とシステムへの接続を確認してください。 音量を上げるか一時停止を解除します。
電話をかけられません。	携帯電話の電源が入っていないかシステムに接続されていません。 電話のキーパッドがロックされています。	携帯電話の電源とシステムへの接続を確認してください。 電話のキーパッドのロックを解除してください。

音声認識		
不具合	原因	解決法
システムが音声コマンドを認識しない。	音声コマンドが認識されていない。 音声認識の遅延時間が過ぎています。 音声認識は、騒音の多い環境では正しく機能しません。	音声コントロールが利用可能であることを確認してください（「音声コントロール」の項を参照してください）。 音声認識の遅延時間内で発声してください。 静かな環境で発声してください。

メディア		
不具合	原因	解決法
Android Auto™/CarPlay™ マルチメディアシステムが始動しない。	USB ケーブルは、データ転送と互換性がありません。	電話のメーカーが推奨する USB ケーブルを使用して、アプリケーションが正しく動作することを確認します。

索引 (1/3)

A

Android Auto™、CarPlay™ 5.11 → 5.14

B

Bluetooth^(R) 3.10 - 3.11

C

CD/CD MP3

聞く 3.10 - 3.11

M

MP3 3.10 - 3.11

MP3 リーダー 3.10 - 3.11

T

TMC ルート情報 2.13 - 2.14

TMC 交通情報の迂回 2.14

U

USB 5.11 → 5.14

USB キー 3.10 - 3.11

ア

アドレス 2.6 → 2.12

アドレス帳 2.8

イ

インストルメントパネル 7.4

エ

エアコン 6.8

オ

オンボードコンピュータ 6.20

お

お気に入り

削除 1.17 - 1.18

追加 1.17 - 1.18

カ

カード

SD 0.1, 3.10 - 3.11

ラダー 2.2

地図シンボル 2.2

表示 2.2 → 2.5

ガ

ガイドダンス

カード 2.2 → 2.5

キャンセル 2.15 → 2.18

作動状態 2.6 → 2.12

コ

コール履歴 4.12

コンテキストボタン 1.2 - 1.3, 1.9 → 1.14

コンパス 1.8, 6.7

サ

サブルート 2.15 → 2.18

シ

シート

調整 6.4 - 6.5

シティブレーキアクティブシステム 6.9

ス

スイッチ類 1.4 → 1.9

ステアリングスイッチとパネル 1.4 → 1.8

タ

タイヤ空気圧 6.22

デ

ディスタンスアラート 6.9

ディスプレイ

スタンバイ 1.15 - 1.16

デフォルトによる調節 7.7

索引 (2/3)

テ	
テンキー.....	7.7
ト	
トランクションコントロール.....	6.10
ナ	
ナビゲーションシステム.....	0.1, 2.2 → 2.5
パ	
パーキングアシスト.....	6.12 → 6.15
パーソナルデータ	
削除	5.8
ビ	
ビデオ.....	3.14 - 3.15
フ	
フロントシート	
運転席メモリー	6.5
ブ	
ブラインドスポット：インジケーター.....	6.9
ヘ	
ヘッドアップディスプレイ.....	7.4
ボ	
ボタン.....	1.4 → 1.9
マ	
マッサージシート.....	6.3
マルチセンス.....	6.6 - 6.7
メ	
メニュー.....	1.9 → 1.14
ラ	
ラジオ	
オートマチックモード	3.2 → 3.9

マニュアルモード	3.2 → 3.9
放送局のオートメモリー	3.2 → 3.9
放送局の登録	3.2 → 3.9
放送局を選択する	3.2 → 3.9
リ	
リアビューカメラ.....	6.12 → 6.15
交	
交通情報.....	2.13 - 2.14
仕	
仕向地.....	2.6 → 2.12
作	
作動異常.....	7.8 → 7.10
使	
使用上の注意.....	0.1
停	
停止.....	1.15 - 1.16
先	
先進運転支援システム.....	6.9 → 6.11
写	
写真	
ディレクトリ	3.12 - 3.13
呼	
呼び出し待機中.....	4.7 → 4.9
接	
接続されているサービス.....	5.2, 5.4 → 5.8
調	
調節.....	4.17 - 4.18, 5.10, 6.20, 7.2 → 7.7

索引 (3/3)

時	
時間	
調整	7.6
燃	
燃料節約	6.16 → 6.19
環	
環境	6.16 → 6.19
画	
画面	
マルチメディア画面	1.2 - 1.3
メニュー	1.3
番	
番号をダイヤルする	4.7 → 4.9, 4.13
目	
目的地を確定する	2.9
省	
省エネルギー	6.16 → 6.19
経	
経済的な運転	6.16 → 6.19
言	
言語	
変更	7.6
調	
調整	
オーディオ	3.16 → 3.18
カスタマイズ	7.2 → 7.7
ナビゲーション	2.19 → 2.21
明るさ	7.5
起	
起動	1.15 - 1.16

距	
距離単位	7.6
車	
車外臭気	6.21
車線逸脱警告	6.9
迂	
迂回	2.14 → 2.18
速	
速度超過警告装置	2.19, 6.10
電	
電話に接続する	4.2 → 4.4
電話のペアリングを解除する	4.2 → 4.4
電話の受信拒否する	4.7 → 4.9
電話リスト	4.10 - 4.11
電話を切る	4.5 → 4.9
電話を受ける	4.7 → 4.9
電話を接続する	4.5 - 4.6
音	
音声スイッチ	1.19 → 1.29, 7.6
音声メッセージ	4.13
音声認識	1.19 → 1.29
音量	7.5

**CLASS I
LASER PRODUCT**

(<https://easyconnect.renault.com>)

